消防年報

令和元年度版



令和2年6月発刊

筑西広域市町村圏事務組合

消 防 本 部

は し が き

この年報は、筑西広域圏内の消防現勢及び令和元年度中の消防業務に関する諸般の統計を収録したものであり、消防の現況を関係者はもとより、広く一般に紹介するために編集したものです。

なお、消防体制については令和2年4月1日現在をもって編集したものです。 これによらないものについては、当該表にそれぞれ記載した年月日により作成 したものです。

この資料が、広く防災対策等への取組にご活用いただければ幸甚の至りに存 じます。

令和2年6月

筑西広域市町村圏事務組合消防本部

令和2年度 筑西広域消防本部業務重点施策 「全員の叡知を結集して強い消防に変革する」

激変する災害、老朽化の進む庁舎、職員の働き方への意識変化など過渡期を迎え、その対応に一刻の猶予もならない筑西消防は、これら課題解決のために策定した第2次総合整備10カ年計画の実現に向け、全職員の叡知を結集し、強い消防への変革を成功させ、安小・安全な圏域を築く。

1 将来を見据えた科学的データに基づく消防庁舎更新計画の策定

当本部の消防庁舎の多くは、築40年以上を経過し、老朽化が著しく、計画的に更新することが必須となる。

そのために必要となる消防庁舎更新計画は、当本部の将来構想を決定する最重要事項であることから、署課長級以上で組織する消防力適正配置調査業務推進委員会を設置し、外部専門調査機関を活用して管内人口分布、交通状況、災害発生状況などのデータから現況分析と将来予測を行い、統合も視野に現有消防力を最大限活用できる署所の適正配置等を十分勘案した計画とする。

2 複雑多様化、広域化する災害への対応連携強化と本部組織再編による体制の充実

今後発生が懸念される首都直下地震等の大規模複合災害や、近年多発する局地的大雨や 台風など自然災害への対応を強化するため、各拠点、各機関との連携を更に充実させ、総 合的な組織対応力強化を図る。

また、その総合的組織対応力を最大限発揮するため、消防本部に消防本部4課再編検討委員会を設置し、警防及び管理統制業務に重点を置いた消防本部事務の検証、見直しを行い、消防本部における災害対応の一元化、効率化を図る。

3 広範囲流行感染症への対応強化と救急需要増大を踏まえた救急体制の構築

新型コロナウイルス対応での活動を振り返り、今後、感染症が広範囲に流行した場合により円滑な対応を可能にするため、対応計画の見直しを図り、保健所など関係機関との連携体制を充実させ、感染者移送対策を強化する。

また、高齢化などによる救急需要の増加を見込み、医療機関と更なる連携を強化し、迅速な受入れ体制を構築する。

併せて、救急車適正利用に向けて、積極的に各種媒体を活用し、住民への一層の周知と 理解を求める。

4 予防事務組織の再編等による防火査察及び違反是正実施体制の充実強化

火災危険や違反状況等の優先順位を考慮したこれまで以上の効率的・効果的な防火査察とするため、現行実施計画が十分に機能しているか検証を行い、改善を行う。

また、重大な違反が是正されない防火対象物に対し、積極的に厳正な違反処理を行うとともに、違反防火対象物公表制度などを活用し圏域住民が安心して管内の建物を利用できるように、適切な情報発信を行う。

更に危険物事務本部移管後の予防事務組織の検証を実施し、体制を整えるとともに、専門知識を有する職員の適材適所な配置や計画的な予防分野人材の養成を行い、防火査察及び違反是正実施体制を強化する。

5 心身ともに健康を維持できる職場環境の構築

勤務体制を総点検し、フレキシブルな労働環境を可能な限り整備することでワークライフバランスの実現を目指す。

また、これまで構築してきた安全衛生及び不祥事防止体制のさらなる充実に努め、職員が熱意と誇りを持ち、その能力を最大限に発揮できる職場環境を提供する。

目 次

総	務	関	係	
	筑西瓜	「域市	5町村圏域の概況	- 1
	消防の	かり)み	- 2
	令和テ	年度	z消防当初予算·分賦金明細	- 16
	消防本	:部約]織図	- 17
	消防本	部事	務分掌	- 18
	消防署	暑(欠	}署)事務分掌	- 20
	消防本	部•	署所別庁舎一覧表	- 21
	職員係	系別酉	2置状況	- 22
	階級別	刂勤矟	S年数	- 24
	階級別	山年樹	<u>^</u>	- 25
	消防職	損穀	文育状況	- 26
警		. –	係	
	消防力	パンフ	プ自動車等の現勢	- 28
	筑西瓜	「域市	5町村圏域図・消防車両等配置状況	- 29
			加業務について・広域圏内救急件数・広域圏内覚知別出場件数	
	各署別]•月	BN救急出場件数	- 31
	年齢区	区分別	• 事故種別傷病程度別搬送人員	- 32
	過去5	5年間	『の救急出場状況・救助出場状況−−−−−	- 33
	消防隊	软效急	急支援・ドクターヘリ・ドクターカー・熱中症出場状況	- 34
管	理	統	制 関 係	- 35
			- 153 - 174 - 185 - 19	
			を表現を表現している。 ・	
			· ステム利用状況	
			大況	

予 防 関 係

火災について	41
火災概要・主な出火原因	42
市別火災種別•地区別出火件数	43
市別火災状況	44
月别出火件数•時間別出火件数	45
危険物•危険物規制対象施設数	46
市別危険物施設数•危険物施設立入検査状況	47
防火対象物・建築確認同意事務処理件数・火災予防条例に基づく届出状況	48
中•高層建築物状況	49
防火対象物数	50
広報活動実施状況•甲種防火管理者資格取得講習	51
民間防火組織等外郭団体結成状況	52
消防団関係	53
消防本部•署(分署) 所在地	54

一目統計

面積	人口	世帯数	予 算
	196,439 人	77,818 戸	令和元年度消防予算
451. 12km²	消防職員1人当たり	消防職員1人当たり	3,271,018 千円
	661 人	262 戸	市民1人当たり
			16,652 円

署所数	l		職員数	•	消防区]員数			1 1 9番通報	
消防本部	4 課	定	員	300 人	消防団	93	分団		11,019	件
消防署	3 署	現	員	297 人	団員	1,621	人	(内訳)		
分署	5 分署	(うち女	性 4人)					火災	126	件
出張所	2 出張所							救急	7,796	件
								救助	100	件
								その他	2,997	件

火災件	数	救急	急件数		救助	力件数	消防隊救	急支援件数
火災件数	80 件	出場件数	8,788	件	出場件数	182 件	出場件数	1,628 件
(内訳)		搬送件数	8,045	件	活動件数	17 件	(PA連携)	
建物火災	37 件	搬送人員	8,130	人				
車両火災	14 件						ドクター/	トリ出動状況
林野火災	0件						要請件数	111 件
その他の火災	29 件						搬送件数	63 件
【出火原因】		【救急	事故種別】		【救助	事故種別】		
1位 たき火	24 件	1位急病	5,631	件	1位 火災	69 件	ドクタース	カー出場件数
2位 放火(疑い)	18 件	2位 一般負傷	1,191	件	2位 交通事故	58 件	要請件数	32 件
3位 配線器具	7 件	3位 転院	897	件	3位 その他事故	42 件	搬送件数	21 件
4位 こんろ	6 件							
5位 火入れ	3 件							

防火対象物数	危険	物施設		防火	/団体	
5,505 対象物	984	施設		防火管理協議会	426	事業所
(内訳)	(内訳)			危険物安全協会	342	事業所
特定用途防火対象物	製造所	15	施設	婦人防火クラブ(4団体)	168	名
1,258 対象物	貯蔵所	619	施設	幼年消防クラブ(22団体)	1,186	名
非特定用途防火対象物	取扱所	350	施設	少年消防クラブ(17団体)	577	名
4,247 対象物						

		消队	5車両等				水利	
ポンプ車	5台	化学車	1 台	水槽車	1 台	消火栓	4,128	箇所
タンク車	10 台	梯子車	2 台	広報車等	9 台	(私設含む)		
救助工作車	1 台	指揮車	1 台	その他	10 台	防火水槽	1,853	箇所
救急車	11 台	搬送車	2 台	総合計	53 台	(私設含む)		

(令和2年4月1日現在)

総務関係

筑西広域市町村圏域の概況

筑西広域市町村圏は、茨城県の西部に位置し、県都水戸市から40~50km圏、筑波研究学園都市から20~40km圏、首都東京から70~90km圏にあり、筑西市、結城市、桜川市の3市で構成され人口は約20万人になります。交通は、筑西市を南北に通る国道294号や広域を東西に横断する国道50号があり、桜川市には北関東自動車道桜川筑西インターチェンジを有しています。鉄道は、JR水戸線、真岡線、関東鉄道常総線があり、市民の生活の一部として利用されています。

広域面積451.12kmの中には豊かな自然環境と雨引観音をはじめとする優れた歴史と文化が融合した、落ち着きのある生活文化空間を形成しています。

人口減少や急激な高齢化等さまざまな諸問題が取り巻き厳しい状況下ではありますが、住民の負託に応え安心で魅力のあるまちづくりを推進してまいります。

構成3市の面積・人口・世帯数

(令和2年4月1日現在)



	区分	西挂(赋)		世帯数		
	市別	面積(km)	男	女	計	(戸)
	筑西市	205.30	51,725	52,025	103,750	41,710
	結城市	65.76	26,101	25,479	51,580	20,698
80	桜川市	180.06	20,467	20,642	41,109	15,410
	合 計	451.12	98,293	98,146	196,439	77,818

消防のあゆみ

当消防本部は、広域消防整備計画に基づき、昭和48年4月に2市5町1村をもって構成されました。平成17年3月28日には、下館市、関城町、明野町、協和町が合併、筑西市が誕生。さらに平成17年10月1日には岩瀬町、真壁町、大和村が合併して桜川市が誕生し、結城市を含めた3市の構成になりました。

これからも、地域の皆様方が消防行政の利益を平等に享受できるよう、また、日常数多く潜在する危険から地域住民の生活を守る担い手としての責任を果たすため、防災対策の万全を期すべく日夜精進を続けています。

	の主と知り、く口後相连と利けているり。
S48. 4. 1	下館市消防本部と結城市消防本部を組合消防本部とし、下館消防署及び川島出
	張所、並びに結城消防署の2署1出張所をもって下館地方広域市町村圏事務組
	合消防本部を発足する。
	既設消防力
	下館消防署消防ポンプ自動車1台、水槽付消防ポンプ自動車1台、
	化学消防ポンプ自動車1台、
	救急自動車2台、查察車1台、
	超短波無線電話基地局1局、移動局6局、
	携帯無線機9局、
	(川島出張所) 消防ポンプ自動車1台、超短波無線電話機移動局1局 結城消防署 消防ポンプ自動車1台、水槽付消防ポンプ自動車1台、
	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一
	救急自動車1台、指令車1台、
	超短波無線電話基地局1局、移動局6局、
	携帯無線機2局、
	職員数 下館消防署49名、結城消防署36名の計85名及び
	職員31名を増員して、総数116名となる。
	初代 石島 利一 消防長就任
4. 1	関彰商事株式会社より救急自動車の寄贈を受け、下館消防署に配置する。
4. 6	岩瀬消防署及び真壁消防署を開設する。(仮庁舎)
	指令車3台購入、消防本部、岩瀬消防署、真壁消防署に配置する。
5.29	水槽付消防ポンプ自動車2台購入、岩瀬消防署、真壁消防署に配置する。
8. 9	財日本消防協会より救急自動車の寄贈を受け、真壁消防署に配置する。
10.31	下館地方広域市町村圏事務組合を筑西広域市町村圏事務組合に名称が変更となる。
	電波法の改正に伴い超短波無線電話機6局購入、下記のとおり配置する。(更新)
	結城消防署 基地局1局、移動局2局
	下館消防署 移動局3局
11.15	超短波無線電話機9局購入、下記のとおり配置する。
	消 防 本 部 移動局 1 局
	岩瀬消防署 基地局1局、移動局3局
	真壁消防署 移動局4局 (うち可搬型1局)

S49. 1.24	篠崎源氏より査察車の寄贈を受け、下館消防署に配置する。
3,30	(社)日本自動車工業より救急自動車の寄贈を受け、岩瀬消防署に配置する。
3.31	職員2名退職、総数114名となる。
S49. 4. 1	職員46名採用、総数160名となる。
5. 7	関城分署、明野分署及び協和分署を開設する。(仮庁舎)
	指令車4台購入、下館消防署、関城分署、明野分署及び協和分署に配置する。
7.10	真壁消防署庁舎 (鉄筋コンクリート平家建 445.20 ㎡、総工費 32,111,500 円)
	が真壁町大字山尾793番地に完成する。
7.17	携帯無線機2局購入、岩瀬消防署及び真壁消防署に配置する。
7.29	超短波無線電話機移動局4局購入、下館消防署、関城分署、明野分署及び協和
	分署に配置する。
8. 5	岩瀬消防署庁舎 (鉄筋コンクリート平家建 442.55 ㎡、総工費 32,419,000 円)
	が岩瀬町大字岩瀬372番地の2に完成する。
10. 2	水槽付消防ポンプ自動車4台購入、関城分署、明野分署、協和分署及び結城南
	出張所に配置する。
	超短波無線電話機移動局4局購入、関城分署、明野分署、協和分署及び結城南
	出張所に配置する。
10.29	普通消防ポンプ自動車2台購入、岩瀬消防署、真壁消防署に配置する。
10.31	超短波無線電話機移動局2局購入、岩瀬消防署及び真壁消防署に配置する。
S50. 3.31	職員5名退職、総数155名となる。
S50. 4. 1	結城南出張所(鉄筋コンクリート平家建 250.80 ㎡、総工費 32,062,000 円)
	が結城市大字大木1138番地に完成する。
	職員21名採用、総数176名となる。
4. 7	関城分署庁舎(鉄筋コンクリート平家建 250.80 ㎡、総工費 31,342,000 円)
	が関城町大字上野1045番地の1に完成する。
4.12	明野分署庁舎(鉄筋コンクリート平家建 248.00㎡、総工費 30,943,000円)
	が明野町大字倉持1123番地の1に完成する。
7.4	協和分署庁舎(鉄筋コンクリート平家建 253.30 ㎡、総工費 30,993,000 円)
	が協和町大字門井1976番地の1に完成する。
9. 5	財日本消防協会より救急自動車の寄贈を受け、関城分署に配置する。
	超短波無線電話機移動局2局購入、消防本部及び関城分署に配置する。
10. 1	
S51. 1.20	梯子付消防ポンプ自動車を購入、下館消防署に配置する。
1.28	
3. 2	株式会社森田ポンプより乗用車の寄贈を受け、消防本部に配置する。
3. 3	
3.16	
3.22	
3.31	職員3名退職、総数195名となる。

S51. 4. 1	職員2名採用、総数197名となる。
5. 1	職員2名採用、総数199名となる。下館消防署特別救助隊発足する。
7.22	携帯無線機5局購入、岩瀬消防署、真壁消防署、関城分署、明野分署、協和分
	署各1局配置する。
10. 1	職員2名採用、総数201名となる。
10.20	水槽付消防ポンプ自動車を購入、結城消防署に配置する。(更新)
S52. 1.24	他日本損害保険協会より救急自動車の寄贈を受け結城消防署に配置する。
1.31	職員1名退職、総数200名となる。
S52. 7. 1	職員3名採用、総数203名となる。
9.12	超短波無線電話機移動局4局購入、関城分署(可搬型)明野分署(可搬型)協
	和分署(可搬型)及び結城消防署に配置する。
12.16	普通消防ポンプ自動車1台購入、下館消防署川島出張所に配置する。(更新)
S53. 3.31	職員2名退職、総数201名となる。
S53. 4. 1	職員3名採用、総数204名となる。
5. 1	初代 石島 利一 消防長退任、総数203名となる。
5. 2	第二代 赤羽 孝夫 消防長就任
8.31	携帯無線機4局購入、消防本部1局及び結城消防署に3局を配置する。
9.30	第二代 赤羽 孝夫 消防長退任、総数202名となる。
10. 1	第三代 濱野 正 消防長事務取扱就任
	職員2名採用、総数204名となる。
12.18	山林火災用小型動力ポンプを購入、岩瀬消防署に配置する。
S54. 3.31	職員4名退職、総数200名となる。
S54. 6.13	専用電話集録装置8局購入、岩瀬消防署3台、真壁消防署2台、関城分署、明
	野分署、協和分署に各1台配置する。
7.11	広報車(山林パトロール用)2台購入、岩瀬消防署及び真壁消防署に配置する。
8.18	小型動力ポンプを購入、真壁消防署に配置する。
8.20	加入電話5回線増設(岩瀬、真壁消防署及び関城、明野、協和分署に設置)
8.31	携帯無線機2局購入、結城消防署に配置する。
9. 1	職員5名採用、総数205名となる。
9.20	超短波無線電話機移動局2局購入、岩瀬消防署、真壁消防署に配置する。
12. 1	職員1名採用、総数206名となる。
S55. 2.18	
3.27	
3.31	職員3名退職、総数203名となる。
S55. 4. 1	職員1名採用、総数204名となる。
7.29	広報車を購入、下館消防署に配置する。(更新)
	指令車を購入、結城消防署に配置する。(更新)
9.20	加入電話1回線増設、結城消防署に設置。
12.20	携帯無線機6局購入、消防本部、岩瀬、真壁消防署及び関城、明野、協和分署

	に各1局を配置する。
S56. 3.31	
S56.10.15	職員2名採用、総数204名となる。
S57. 1.26	普通消防ポンプ自動車を購入、下館消防署に配置する。(更新)
3.9	携帯無線機4局購入、下館消防署2局、結城消防署、岩瀬消防署に各1局を配
	置する。
3.17	他日本損害保険協会より救急自動車の寄贈を受け、下館消防署に配置する。
3.31	消防無線基地局非常電源を設置する。
S57. 4. 5	下館市危険物安全協会より広報車の寄贈を受け、消防本部に配置する。
7.26	査察車3台購入、結城、岩瀬、真壁の各消防署に配置する。
10. 1	職員5名採用、総数209名となる。
10.22	気象観測装置を下館消防署に設置する。
12.24	指令車を購入、大和分署に仮配置する。(開設準備期間)
S58. 2.16	超短波無線電話機移動局4局、可搬型移動局1局を大和分署に仮配置、下館消
	防署1局(更新)、結城消防署1局(更新)を配置する。携帯無線機6局購入、下
	館消防署2局、結城消防署1局を配置、大和分署3局を仮配置する。
2.23	水槽付消防ポンプ自動車を購入、大和分署に事前配置する。
2.28	大和分署車庫(鉄筋コンクリート平家建 112.50 ㎡、総工費 31,200,000 円)が
	大和村大字羽田1000番地に完成する。
3. 4	大和分署に加入電話2回線を事前開設する。
S58. 4. 1	大和分署を開設する。職員5名採用、総数214名となる。
S59. 2. 1	職員3名採用、総数217名となる。
2.22	
3.31	職員4名退職、総数213名となる。
S59. 4. 1	茨城県防災行政無線局を消防本部に設置する。
	第三代演野正消防長事務取扱退任
4. 2	第四代 池田 満 消防長就任、職員総数214名となる。
5. 1	職員2名採用、総数216名となる。
S60. 1. 1	科学万博消防署に職員2名派遣する。
') 1	
3. 1	科学万博消防署に職員3名派遣する。(合計5名)
3.31	職員1名退職、総数215名となる。
	職員1名退職、総数215名となる。 結城消防署庁舎(鉄骨造2階建、建築面積838.57 ㎡、延面積1,371,57 ㎡、
3.31 S60. 6.29	職員1名退職、総数215名となる。 結城消防署庁舎(鉄骨造2階建、建築面積838.57㎡、延面積1,371,57㎡、 総工費225,200,000円)が結城市みどり町2丁目3番地に完成し移転する。
3.31 S60. 6.29 8. 1	職員1名退職、総数215名となる。 結城消防署庁舎(鉄骨造2階建、建築面積838.57㎡、延面積1,371,57㎡、 総工費225,200,000円)が結城市みどり町2丁目3番地に完成し移転する。 職員4名採用、総数219名となる。
3.31 S60. 6.29	職員1名退職、総数215名となる。 結城消防署庁舎(鉄骨造2階建、建築面積838.57㎡、延面積1,371,57㎡、 総工費225,200,000円)が結城市みどり町2丁目3番地に完成し移転する。 職員4名採用、総数219名となる。 側日本消防協会より広報車の寄贈を受け消防本部に配置する。
3.31 S60. 6.29 8. 1	職員1名退職、総数215名となる。 結城消防署庁舎(鉄骨造2階建、建築面積838.57㎡、延面積1,371,57㎡、 総工費225,200,000円)が結城市みどり町2丁目3番地に完成し移転する。 職員4名採用、総数219名となる。 (財日本消防協会より広報車の寄贈を受け消防本部に配置する。 (財日本消防協会より「筑西広域少年婦人防火委員会」に軽可搬動力消防ポンプ
3.31 S60. 6.29 8. 1	職員1名退職、総数215名となる。 結城消防署庁舎(鉄骨造2階建、建築面積838.57㎡、延面積1,371,57㎡、 総工費225,200,000円)が結城市みどり町2丁目3番地に完成し移転する。 職員4名採用、総数219名となる。 側日本消防協会より広報車の寄贈を受け消防本部に配置する。

S60.10. 1	国際科学技術博覧会協会より普通消防ポンプ自動車(A-1級トヨタ)の寄贈
000.10. 1	を受け、真壁消防署に配置する。
S61. 3.31	第四代 池田 満 消防長退任、職員3名退職、総数215名となる。
S61. 4. 1	第五代 肥田 猛 消防長就任、職員1名採用、総数216名となる。
5.23	救助艇(船外機付)を購入、結城消防署に配置する。
6. 1	職員1名採用、総数217名となる。
8. 5	台風10号水害により、大規模特殊災害広域航空消防応援により東京消防庁及
	び横浜市消防局航空隊の応援を受ける。
8. 7	財日本消防協会より「筑西広域少年婦人防火委員会」に軽可搬動力消防ポンプ
	(D-1級トーハツ)の寄贈を受け「結城市国府町婦人防火クラブ」に配置する。
S62. 3.31	職員1名退職、総数216名となる。
S62. 6.29	消防指令広報車1台購入、関城分署に配置する。(更新)
8. 3	財日本消防協会より「筑西広域少年婦人防火委員会」に軽可搬動力消防ポンプ
	(D-1級シバウラ)2台の寄贈を受け、「岩瀬町飯渕・久原婦人防火クラブ」及
	び「関城町上野婦人防火クラブ」に配置する。
8.25	第3回茨城県幼年・少年・婦人防火大会が下館市で開催され、会員 1,200 名
	が参加する。
9.17	水槽付消防ポンプ自動車を購入、下館消防署に配置する。(更新)
12. 1	職員1名採用、総数217名となる。
S63. 1.21	他日本自動車工業会より救急自動車の寄贈を受け、岩瀬消防署に配置する。
3. 4	救急自動車を2台購入、下館消防署、結城消防署に配置する。(更新)
S63. 7.30	財日本消防協会より「筑西広域少年婦人防火委員会」に軽可搬動力消防ポンプ
	(D-1級ラビット)2台の寄贈を受け、「下館市市野辺婦人防火クラブ」及び「関
	城町西保末婦人防火クラブ」に配置する。
8.30	水槽付消防ポンプ自動車を購入、岩瀬消防署に配置する。(更新)
12.27	救急自動車4台購入、真壁消防署、関城分署、明野分署、協和分署に配置する。
	(更新)
H1. 1.27	消防指令広報車を購入、結城消防署に配置する。(更新)
3.31	携帯無線機2局購入、結城消防署、真壁消防署に配置する。
114 5 00	職員1名退職、総数216名となる。
H1. 5.30	消防指令広報車3台購入、下館、岩瀬、真壁消防署に配置する。(更新)
7.27 8.30	携帯無線機2局購入、関城分署、明野分署に配置する。
10, 1	下館消防署の放送設備を更新する。
10. 1	職員2名採用、総数218名となる。 水槽付消防ポンプ自動車2台購入、結城消防署、真壁消防署に配置する。(更新)
10.11	が問り消的ホノノ自動車と口購入、結城消的者、具空消的者に配直する。(更新) 明日本消防協会より「筑西広域少年婦人防火委員会」に軽可搬動力消防ポンプ
10.30	(D-1級トーハツ)の寄贈を受け「真壁町東山田婦人防火クラブ」に配置する。
	関日本防火協会より防火広報車の寄贈を受け、消防本部に配置する。 下館消防
	署の電話設備を更新する。
	ロくよことをはいる。

H2. 3. 1	他日本損害保険協会より救急車の寄贈を受け、下館消防署に配置する。(更新)			
3.31	職員3名退職、総数215名となる。			
H2. 4. 1	職員3名採用、総数218名となる。			
5.24	電話ファクシミリを購入、下館消防署に設置する。			
5.31	真壁消防署の電話設備を更新する。			
6.18	消防指令広報車2台購入、明野分署、協和分署に設置する。(更新)			
8. 2	財日本消防協会より「筑西広域少年婦人防火委員会」に軽可搬動力消防ポンプ			
	(D-1級シバウラ)の寄贈を受け、「協和町蓮沼団地婦人防火クラブ」に配置す			
	る 。			
8. 6	岩瀬消防署の無線基地局を更新する。携帯無線機2局購入、結城消防署、協和			
	分署に設置する。			
9.11	水槽付消防ポンプ自動車3台購入、関城分署、明野分署、協和分署に配置する。 (更新)			
H3. 3.31	職員3名退職、総数215名となる。			
H3. 4. 1	職員1名採用、総数216名となる。			
5.23	電話ファクシミリを購入し、結城、岩瀬、真壁消防署に設置する。			
6.15	連絡車を購入し、消防本部に配置する。(更新) 査察車を購入し、下館消防署に			
	配置する。(更新)			
6.26	岩瀬消防署の電話設備を更新する。			
12.18	化学消防ポンプ自動車を購入し、結城消防署に配置する。(更新)			
12.25	ひとり暮らし老人等緊急通報システムの開通式並びに業務を開始する。			
H4. 1.29	他日本損害保険協会より救急車の寄贈を受け、結城消防署に配置する。(更新)			
	㈱広沢電気より多目的電源照明車の寄贈を受け、下館消防署に配置する。			
	自動車電話、心電図伝送装置を購入し全救急車に配備、救急心電図伝送システ			
	ムを開始する。			
3.13	車載用無線機2局、携帯無線機2局を購入し、下館消防署、結城消防署に配置			
	する。(更新)			
3.31	普通消防ポンプ自動車を購入し、岩瀬消防署に配置する。(更新)			
	職員3名退職、総数213名となる。			
H4. 4. 1	職員5名採用、総数218名となる。			
11.1	職員1名採用、総数219名となる。			
11.5	普通消防ポンプ自動車を購入し、下館消防署に配置する。(更新)			
H5. 3. 3	水槽付消防ポンプ自動車を購入し結城消防署に配置する。(更新) 救助工作車			
	を購入し、下館消防署に配置する。(増強)			
3.31	職員6名退職、総数213名となる。			
H5. 4. 1	職員6名採用、総数219名となる。			
10. 1	職員2名採用、総数221名となる。			
10.29	消防職員互助会及び筑西防火管理協議会より、一部寄付を受けマイクロバスを			
	購入する。			
-				

115 40 0 4				
H5.12.24	30メートル級梯子付消防ポンプ自動車を購入し結城消防署に配置する。			
H6. 3.31	第五代 肥田 猛 消防長退任、職員3名退職、総数217名となる。			
H6. 4. 2	第六代 生井 一郎 消防長就任、職員10名採用、総数228名となる。			
10. 1	職員2名採用、総数230名となる。			
10.19	広報車を購入し、下館消防署に配置する。(更新)			
12. 1	職員1名採用、総数231名となる。			
H7. 1. 1	職員1名採用、総数232名となる。火災初期出動体制の改善を実施する。			
2.17	救助工作車を購入し、結城消防署に配置する。(増強)			
3.16	普通消防ポンプ自動車を購入し結城消防署に配置する。(更新)			
3.20	下館消防署に無線局(基地局の全国波)を設置する。(増強)			
3.30	広報車(山林パトロール用)2台購入し、岩瀬消防署及び真壁消防署に配置す			
	る。(更新)			
3.31	職員4名退職、総数228名となる。			
H7. 4. 1	職員8名採用、総数236名となる。			
5.12	救急救命士法(平成3年法律第36号)施行後初の救急救命士免許取得者1名となる。			
7.26	広報車を購入し、消防本部、結城消防署に配置する。(増強)			
10. 1	職員1名採用、総数237名となる。			
11.14	救急救命士免許取得者1名、計2名となる。			
12.25	高規格救急車を購入し下館消防署に配置する。(増強) 救急救命士2名配置。			
H8. 3.31	職員3名退職、総数234名となる。			
H8. 4. 1	職員2名採用、総数236名となる。			
6.25	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎建設に係る用地の代行買収委託契約			
	を筑西広域市町村圏事務組合管理者と側下館市開発公社副理事長との間で締結			
	する。			
7. 1	職員3名採用、総数239名となる。			
7.10	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎建設用地に係る買収契約を脚下館市開			
	発公社と地権者5名で締結する。			
8.27	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎建設事業に係る設計会社選定方法につ			
	いて、首長会議の結果公募プロポーザル方式に決定する。			
11. 5	38メートル級梯子付消防ポンプ自動車を購入し下館消防署に配置する。			
	(更新)			
H9. 1.29	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎建設事業の基本設計委託業務に係る公			
	募型プロポーザル審査会を開催し、最適コンサルタント1社を選出する。			
2.3	救急自動車を購入し真壁消防署に配置する。(更新)			
2.13	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎建設工事基本設計業務に着手する。			
3.22	化学防護服2着及び簡易画像探索機を購入し下館消防署に配置する。(増強)			
3.27	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎建設工事基本設計計画報告書が提出さ			
	れる。			

H9. 3.31	第六代 生井 一郎 消防長退任、職員5名退職、総数233名となる。			
H9. 4. 1	第七代 篠田 昭宣 消防長就任、職員5名採用、総数239名となる。			
4.10	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎建設工事実施設計業務に着手する。			
5.19	救急救命士免許取得者1名、計3名となる。			
5.20	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎建設工事の地質調査業務に着手する。			
9. 1	指令車を購入、大和分署に配置する。(更新)			
10.24	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎建設工事実施設計報告書が提出される			
11.20	救急救命士免許取得者1名、計4名となる。			
H10. 2. 2	9年・10年度下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎、建設工事、電気設			
	備工事、機械設備工事を契約、工事に着手する。			
2.27	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎建設工事安全祈願祭を実施する。			
3.20	普通消防ポンプ自動車を購入し下館消防署川島出張所に配置する。(更新)			
	高規格救急車を購入し結城消防署に配置する。(増強) 救急救命士2名配置。 対象表の公を購入し間は公開、四殿公開に取開する。(第25)			
2.24	救急車2台を購入し関城分署、明野分署に配置する。(更新)			
3.31 H10, 5.20	職員1名退職、総数238名となる。			
6.23	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎訓練塔工事及び外構工事を契約する。 			
7. 1	NODB以有的本品有的系总通信指力地設定类制する。 職員8名採用、総数246名となる。			
7. 1	職員の石採用、職数と40石となる。 筑西広域消防本部消防緊急通信指令施設発信地表示システムを契約する。			
9.30				
10.28	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、大和分署に配置する。 (更新)			
10.20	救急車を購入し、協和分署に配置する。(更新)			
11.25	救急救命士免許取得者1名、計5名となる。			
12.16	下館消防署・筑西広域消防本部併用庁舎備品を契約する。			
H11. 3.23	筑西広域消防本部・下館消防署併用庁舎が竣工			
3.31	第七代 篠田 昭宣 消防長退任、職員2名退職、総数243名となる。			
H11. 4. 1	筑西広域消防本部・下館消防署新庁舎で業務を開始する。			
	第八代 内田 昭治 消防長就任			
	職員1名採用、総数244名となる。			
	茨城県防災航空隊へ1名派遣する。			
5. 1	職員1名採用、総数245名となる。			
9.12	大関消防司令補殉職、総数244名となる。			
11.26	救急救命士免許取得者1名、計6名となる。			
12.6	化学消防ポンプ自動車を購入し、下館消防署に配置する。(更新)			
	消防ポンプ自動車を購入し、真壁消防署に配置する。(更新)			
H12. 3.31	職員4名退職、総数240名となる。			
H12. 4. 1	職員5名採用、総数245名となる。			
5.26	救急救命士免許取得者1名、計7名となる。			
H12.11.14	救急救命士免許取得者1名、計8名となる。			

H12.11.21	高規格救急車を購入し、岩瀬消防署に配置する。(更新)救急救命士2名配置。			
H13. 3.31	第八代 内田 昭治 消防長退任、職員4名退職、総数240名となる。			
H13. 4. 1	第九代 藤田 隆 消防長就任 開発 スタゼロ 総数の 4 スタトカス			
	職員7名採用、総数247名となる。			
4.00	救急車を大和分署に配置する。(増強)			
4.26	救急救命士免許取得者1名、計9名となる。			
6. 8	救急救命士免許取得者1名、計10名となる。			
6.27	指令車を購入し、関城分署に配置する。(更新)			
10.16	クレーン付搬送車・救助艇を購入し、下館消防署に配置する。(増強)			
12. 3	救急救命士免許取得者1名、計11名となる。			
H14. 1.30	救急車を購入し、大和分署に配置する。(更新)			
2.28	指令車を購入し、結城消防署に配置する。(更新)			
3.31	第九代 藤田 隆 消防長退任、職員2名退職、総数244名となる。			
H14. 4. 1	第十代本橋幾郎消防長就任			
	職員9名採用、総数254名となる。(救命士免許取得者1名含む)			
	救急救命士免許取得者1名、計12名となる。			
	茨城県防災航空隊へ1名派遣する。			
6.6	救急救命士免許取得者1名、計13名となる。			
11.26	救急救命士免許取得者1名、計14名となる。			
12.20	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を購入、下館消防署に配置する。(更新)			
	小型動力ボンブ付大型水槽車を購入し、下館消防署に配置する。(増強) 世界スタは開 総数の4スタとなる			
H15. 3.31	職員7名退職、総数247名となる。			
H15. 4. 1	職員11名採用、総数258名となる。			
5. 6	救急救命士免許取得者1名、計15名となる。			
10.29	指令車を購入し、岩瀬消防署に配置する。(更新)			
	指令車を購入し、真壁消防署に配置する。(更新)			
11.13	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を購入し、岩瀬消防署に配置する。			
	(更新)			
12. 9	災害対応特殊救急自動車を購入し、真壁消防署に配置する。(更新)			
	救急救命士免許取得者1名、計16名となる。			
H16. 3.31	職員1名退職、総数257名となる。			
H16. 4. 1	職員8名採用、総数265名となる。			
5. 7	救急救命士免許取得者1名、計17名となる。			
11. 9	災害対応特殊救急自動車を購入、下館消防署川島出張所に配置する。(更新)			
11.19	救急救命士免許取得者1名、計18名となる。			
12. 7	指導車を購入し、下館消防署に配置する。(更新)			
12.26	指導車を購入し、下館消防署に配置する。(更新) 職員1名退職、総数264名となる。			
12.26 H17. 2. 1	指導車を購入し、下館消防署に配置する。(更新) 職員1名退職、総数264名となる。 職員1名採用、総数265名となる。			
12.26	指導車を購入し、下館消防署に配置する。(更新) 職員1名退職、総数264名となる。			

147004	
H17.3.31	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、真壁消防署、結城消防署南出張所に配置
1117.4	する。(更新) 職員2名退職、総数262名となる。
H17.4. 1	1,25 (= 2,17,15 (1,055)
5.11	救急救命士免許取得者1名、計21名となる。
10. 1	岩瀬町、真壁町、大和村が合併、『桜川市』となる。
11.10	救急救命士免許取得者1名、計22名となる。
11.21	指令車を購入し、明野分署、協和分署に配置する。(更新)
H18. 3.10	
3.27	
3.31	職員5名退職、総数265名となる。
H18.4.1	職員8名採用、総数273名となる。
11.6	職員1名退職、総数272名となる。
H19.3.15	広報車を購入し、下館消防署に配置する。(更新)
	災害対応特殊救急自動車を購入し、結城消防署に配置する。(更新)
	災害対応特殊消防ポンプ自動車(600ℓ水槽付)を購入し、岩瀬消防署に配置
	する。(普通ポンプ車の更新)
3.31	水槽付消防ポンプ自動車を購入し、協和分署に配置する。(更新)
	第十代 本橋 幾郎 消防長退任
	職員5名退職、広域事務局へ1名転出、総数266名となる。
H19.4.1	第十一代 飯村 勝行 消防長就任、職員8名採用、総数274名となる。
4.26	救急救命士免許取得者 1 名、計23名となる。
6.1	職員1名採用、総数275名となる。
11.22	職員1名退職、総数274名となる。
H20.1.20	職員1名退職、総数273名となる。
H20.3.31	職員5名退職、総数268名となる。
H20.4.1	消防本部組織再編
	下館消防署を筑西消防署に名称変更、関城・明野・協和分署が筑西消防署の管
	轄分署となる。
	岩瀬消防署を桜川消防署に名称変更、真壁消防署の組織を変更し真壁分署と
	なる。真壁・大和分署が桜川消防署の管轄分署となる。
	茨城県防災航空隊へ1名派遣する。
4.15	桜川消防署に北関東自動車道路供用開始に伴い救急車を配置する。(増強)
4.21	消防本部の救急車(予備車)を廃車する。
	救急救命士免許取得者 1 名、計24名となる。
6.30	肥田猛氏より連絡車の寄贈を受け、消防本部に配置する。
10.1	消防緊急通信指令施設を高機能消防通信システムに部分更新する。
10.20	職員1名退職、総数267名となる。
3.31	第十一代 飯村 勝行 消防長退任
	職員7名退職、広域事務局へ1名転出、総数259名となる。

H21.4.1	第十二代 大和田邦一 消防長就任		
	職員9名採用、総数268名となる。(救命士免許取得者2名含む)		
4.22	救急救命士免許取得者3名、計29名となる。		
H21.10.31	職員1名退職、総数267名となる。		
12.1	高規格救急車を購入し、桜川消防署に配置する。(更新)		
	災害対応特殊高規格救急車を購入し、筑西消防署明野分署に配置する。(更新)		
H22.1.22	電源照明車を廃車する		
3.25	指揮車を購入し、消防本部に配置する。(更新)		
3.31	職員7名退職、総数260名となる。		
H22.4.1	職員10名採用、総数270名となる。		
4.13	救急救命士免許取得者2名、計31名となる。		
H23.1.18	救助工作車(Ⅲ型)を購入し、筑西消防署に配置する。(更新)		
3.28	指令車を購入し、結城消防署に配置する。(更新)		
3.31	職員7名退職、総数263名となる。		
H23.4.1	職員10名採用、総数273名となる。		
	救急救命士免許取得者1名、計32名となる。		
	茨城県立消防学校へ1名派遣する。		
5.11	救急救命士免許取得者3名、計35名となる。		
9.30	職員1名退職、総数272名となる。		
12.1	災害対応特殊高規格救急車を購入し、結城消防署に配置する。(更新)		
H24.3.8	水槽付消防ポンプ自動車(CAFS 搭載)を購入し筑西消防署に配置する。(更新)		
3.31	職員7名退職、総数265名となる。		
H24.4.1	職員10名採用、総数275名となる。		
	救急救命士免許取得者2名、計37名となる。		
5.10	救急救命士免許取得者2名、計39名となる。		
H25.2.1	茨城消防救急無線指令センター整備推進協議会事務局へ 1 名出向となる。		
3.7	災害対応特殊水槽付消防ポンプ車(CAFS・救助資機材搭載)を購入し、結城		
	消防署に配置する。(更新)		
	高規格救急車を購入し、筑西消防署協和分署に配置する。(更新)		
3.31	第十二代 大和田 邦一 消防長退任		
	職員17名退職、総数258名となる。		
H25.4.1	第十三代 森 正雄 消防長就任		
	職員14名採用、総数273名となる。		
	救急救命士免許取得者1名、計40名となる。		
	剛日本消防協会へ1名派遣する。		
4.8	救急救命士免許取得者4名、計44名となる。		
4.30	第十三代 森 正雄 消防長退任		
	職員1名退職、総数272名となる。		
5.8	第十四代 柴 勝昭 消防長就任		

H25.5.31	職員1名退職、総員271名となる。
10.31	水槽付化学消防車を結城消防署に配置換えする。
12.1	災害対応特殊高規格救急車を購入し、筑西消防署関城分署に配置する。(更新)
12.1	水槽付消防ポンプ車(CAFS・救助資機材搭載)を購入し、桜川消防署に配置
	する。
H26.3.31	する。 職員16名退職、総数255名となる。
H26.4.1	桜川消防署に特別救助隊を発足する。
1120.1.1	職員28名採用、総数283名となる。
	救急救命士免許取得者10名、計54名となる。
	茨城県防災航空隊へ1名派遣する。
8.1	職員3名採用、総数286名となる。
0,1	救急救命士免許取得者3名、計57名となる。
10.1	職員1名隊退職、総数285名となる。
H27.1.1	緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練茨城県実行委員会事務局に1名派遣す
	న <u>ె</u> .
	職員1名採用、総数286名となる。
	救急救命士免許取得者3名、計60名となる
3.25	災害対応特殊高規格救急車を購入し、桜川消防署真壁分署に配置する。(更新)
3.31	災害対応特殊水槽付消防ポンプ車(CAFS)を購入し、結城消防署に配置する。
	(更新)
	職員20名退職、総数266名となる。
	救急救命士免許取得者1名退職、計59名となる。
H27.4.1	消防職員定数の期限付き特例を廃止。
	消防職員条例定数が300人に改定となる。
	広域事務局から1名、総務課へ配属となる。
	職員18名、再任用3名採用、総数288名となる。
	救急救命士免許取得者2名、計61名となる。
5.31	職員1名退職、総数287名となる。
9.30	職員1名退職、総数286名となる。
10.1	職員5名採用、総数291名となる。
	救急救命士免許取得者5名、総数66名となる。
12.17	
	高規格救急車を購入し、筑西消防署川島出張所に配置する。(更新)
H28.2.4	
3.31	第十四代 柴 勝昭 消防長退任
	職員20名退職、広域事務局へ1名転出、総数270名となる。
	救急救命士免許取得者1名退職、計65名となる。

H28.4.1	第十五代 水越 輝夫 消防長就任			
	職員22名、再任用6名採用、総数298名となる。			
	救急救命士免許取得者、総数71名となる。			
7.27	職員1名退職、総数297名となる。			
12.31	職員1名退職、総数296名となる。			
H29.3.9	災害対応特殊高規格救急車を購入し、結城消防署南出張所に配置する。(更新)			
	高規格救急車を購入し、桜川消防署大和分署に配置する。(更新)			
3.31	職員21名退職、再任用職員6名退職、総数269名となる。			
H29.4.1	消防本部が、総務課、警防課、管理統制課、予防課に組織改編。			
	職員18名採用、再任用職員11名(短時間7名、フルタイム4名)採用、			
	総数298名となる。			
	救急救命士免許取得者、総数76名となる。			
	(公財)日本消防協会へ1名派遣する。			
	茨城県生活環境部防災・危機管理局 消防安全課へ1名派遣する。			
	赤外線カメラ付き小型無人航空機(ドローン)の運用を開始する。			
9.30	職員1名退職、総数297名となる。			
10.18	連絡車を購入し、消防本部に配置する。(更新)			
10.31	職員1名退職、総数296名となる。			
12.13	災害対応特殊梯子車を購入し、筑西消防署に配置する。(更新)			
	筑西広域消防高度救助隊が発足する。			
H30.1.11	筑西市布川地内に、筑西消防署川島分署建設用地を取得し登記完了する。			
2.28	調査車を購入し、桜川消防署に配置する。(更新)			
2.28	職員1名退職、総数295名となる。			
3.31	第十五代 水越 輝夫 消防長退任			
	職員3名退職、再任用職員11名退職、総数281名となる。			
	救急救命士免許取得者1名退職、75名となる。			
H30.4.1	第十六代 高嶋 幹夫 消防長就任			
	職員16名、再任用2名(短時間2名)採用、総数299名となる。			
	救急救命士免許取得者、総数79名となる。			
	広域事務局へ2名派遣する。			
5.16	職員1名退職、総数 298 名となる。			
9.30	職員1名退職、総数 297 名となる。			
12.20	災害対応特殊救急自動車を購入し、筑西消防署に配置する。(更新)			
	災害対応特殊消防ポンプ車を購入し、桜川消防署真壁分署に配置する。(更新)			
	筑西消防署川島分署新築工事を契約、工事に着手する。			
12.31	職員1名退職、総数 296 名となる。			
H31.1.17	筑西消防署川島分署新築工事安全祈願祭を実施する。			
3.31	第十六代 高嶋 幹夫 消防長退任			
	職員8名退職、再任用職員2名退職、総数286名となる			

H31.4.1	第十七代 杉山 貞夫 消防長就任				
	職員9名、再任用2名採用、総数 297 名となる。				
	広域事務局に1名身分移管、総数 296 名となる。				
	総務省消防庁消防大学校へ1名派遣する。				
	救急救命士免許取得者、総数81名となる。				
	広域事務局へ1名派遣する。				
R1.6.30	職員1名退職、総数 295 名となる				
R1.7.26	連絡車を購入し、消防本部に配備する(更新)				
R1.12.24	災害対応特殊救急自動車を購入し、桜川消防署に配置する。(更新)				
R2.2.29	職員1名退職、総数 294 名となる				
R2.2.20	災害対応特殊消防ポンプ車を購入し、筑西消防署川島出張所に配置する。(更				
R2.3.10	新)				
R2.3.31	広報車を購入し、筑西消防署川島出張所に配備する(増強)				
	第十七代 杉山 貞夫 消防長退任				
	職員 5 名退職、再任用 2 名退職、総数 287 名となる				
R2.4.1	第十八代 内田 昭彦 消防長就任				
	職員 5 名、再任用 5 名採用、総数 297 名となる。				
	茨城県立消防学校へ 1 名派遣する				
	救急救命士免許取得者、総数 84 名となる				

令和元年度消防当初予算比較表

(単位:千円)

17		円)

歳	入
消防分賦金	2,660,073
(前年度)	2,542,660
組合債	470,900
(前年度)	348,400
繰 越 金	98,416
(前年)	89,317
県補助金	0
(前年度)	0
諸収入	10,227
(前年度)	18,387
使用料及び手数料	3,820
(前年度)	3,430
筑西消防署・消防本部庁舎 敷地特別金賦金	27,582
(前年度)	27,814
合 計	3,271,018
(前年度)	3,030,008

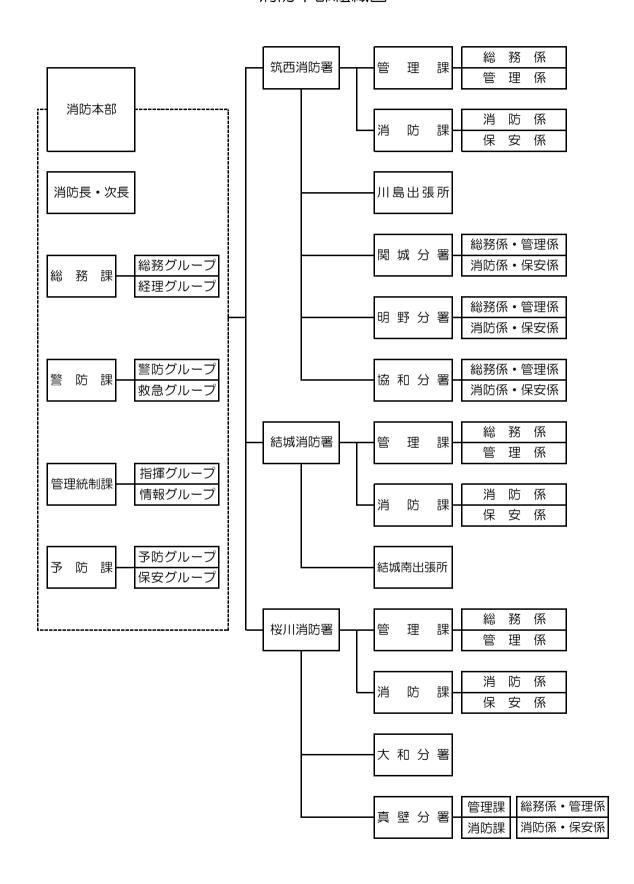
歳	出
職員給与関係経費	2,156,343
(前年度)	2,126,392
消防運営事務費	317,347
(前年度)	295,553
消防施設整備事業	552,800
(前年度)	365,200
公 債 費	243,128
(前年度)	241,463
予 備 費	1,400
(前年度)	1,400
合 計	3,271,018
(前年度)	3,030,008

令和元年度消防分賦金明細

(単位:千円)

+ 01	∠ 65	+ 4	<u> </u>	Ē	の	内	訳	
市別	分賦	金	世帯割	(40%)	基準財政需要	額割 (30%)	職員割	(30%)
筑西市	1,333,133	50.1%	563,583	53.0%	414,498	51.9%	355,052	44.5%
(前年度)	1,282,791	50.5%	349,077	45.8%	396,027	51.9%	537,687	52.9%
結城市	658,914	24.8%	291,372	27.4%	181,562	22.8%	185,980	23.3%
(前年度)	622,595	24.5%	171,306	22.5%	173,689	22.8%	277,600	27.3%
桜川市	668,026	25.1%	209,075	19.6%	201,961	25.3%	256,990	32.2%
(前年度)	637,274	25.1%	242,415	31.8%	193,081	25.3%	201,778	19.8%
合 計	2,660,073	100.0%	1,064,030	100.0%	798,021	100.0%	798,022	100.0%
(前年度)	2,542,660	100.0%	762,798	100.0%	762,797	100.0%	1,017,065	100.0%

消防本部組織図



消防本部事務分掌

総務課

- (1) 予算及び経理に関すること。
- (2) 消防施設、消防用財産の建設及び管理に関すること。
- (3) 貸与品及び消耗品等に関すること。
- (4) 組織、制度及び消防関係例規に関すること。
- (5) 消防事務の企画及び事務管理に関すること。
- (6) 公印の管守に関すること。
- (7) 文書に関すること。
- (8) 総務の統計に関すること。
- (9) 関係機関との情報連絡に関すること。
- (10) 職員の任免、昇任、昇格、配置、服務、分限、懲戒、表彰、その他の人事に関すること。
- (11) 職員の健康管理及び福利厚生に関すること。
- (12) 職員の共済組合及び総合事務組合に関すること。
- (13) 職員の給与、公務災害補償及び補償補填に関すること。
- (14) 職員の消防教育機関への派遣、入校、その他の研修及び出向計画に関すること。
- (15) 消防職員委員会に関すること。
- (16) 総務に関する調査研究及び教養訓練に関すること。
- (17) 他の課に属しないこと。

警防課

- (1) 警防技能に関すること。
- (2) 消防機器の配備、整備及び消火薬剤の管理に関すること。
- (3)機関員の技能管理及び認定に関すること。
- (4) 救急及び救助に関すること。
- (5) 救急及び救助に係る統計、調査研究並びに教養訓練に関すること。
- (6) 救急講習会に関すること。
- (7) 筑西広域メディカルコントロール協議会に関すること。
- (8) 医療機関との連携・連絡に関すること。
- (9) 公用車両の事故に関すること。

管理統制課

- (1) 火災、風水害その他災害の対策に関すること。
- (2) 指揮隊の運用に関すること。
- (3) 災害情報の収集及び伝達に関すること。
- (4) いばらき消防指令センターとの連絡調整に関すること。
- (5) 気象情報の収集及び伝達に関すること。
- (6) 火災警報に関すること。
- (7) 防災行政無線及び市民メールに関すること。
- (8) 消防通信連絡及び災害即報に関すること。
- (9) 緊急通報システムに関すること。
- (10) 通信機器に関すること。
- (11) 情報共有端末装置に関すること。
- (12) 非常招集に関すること。
- (13) 警防計画に関すること。
- (14) 地理及び水利に関すること。
- (15) 開発行為に関すること。
- (16) 災害対策本部の設置運営に関すること。
- (17) 消防相互応援に関すること。
- (18) 緊急消防援助隊に関すること。
- (19) 高速道路における災害対応等に関すること。
- (20) 管理統制の統計に関すること。
- (21) 管理統制に係る調査研究及び教養訓練に関すること。

予防課

- (1) 火災の予防に関すること。
- (2) 防火思想の普及に関すること。
- (3) 予防査察及び指導に関すること。
- (4) 建築確認等の同意に関すること。
- (5) 消防用設備等の設置及び指導に関すること。
- (6) 予防の統計に関すること。
- (7) 火災調査に関すること。
- (8) 罹災証明等に関すること。
- (9) 広報広聴及び報道対応に関すること。
- (10) 防火管理者及び危険物取扱者に関すること。
- (11) 防火保安団体に関すること。
- (12) 危険物製造所等の許認可に関すること。
- (13) 危険物製造所等の火災予防措置に関すること。
- (14) 少量危険物及び指定可燃物の火災予防措置に関すること。
- (15) 液化石油ガス等貯蔵取扱施設の保安上の措置に関すること。
- (16) 防火対象物定期点検報告制度に関すること。
- (17) 予防に関する調査研究及び教養訓練に関すること。

消防署(分署)事務分掌

(署) 筑西・結城・桜川消防署 (分署) 真壁・関城・明野・協和

管理課

総務係

- (1) 文書、統計及び公印の管守に関すること。
- (2) 予算及び経理に関すること。
- (3) 職員の健康管理及び福利厚生に関すること。
- (4) 職員の給与、貸与品及び消耗品に関すること。
- (5) 職員の服装及び勤務に関すること。
- (6) 他の課又は係に属さないこと。

管理係

- (1) 職員の教育、訓練に関すること。
- (2) 消防用機器及び通信施設の管理に関すること。
- (3) 消防用資器材及び薬剤等の保守管理に関すること。
- (4) 警防計画に関すること。
- (5) 火災等の警防に関すること。
- (6) 救急、救助業務に関すること。

消防課

消防係

- (1) 罹災証明等に関すること。
- (2) 火災の統計に関すること。
- (3) 予防査察に関すること。
- (4) 防火管理者及び危険物取扱者の育成指導に関すること。
- (5) 消防計画及び訓練指導に関すること。
- (6) 消防用設備及び危険物製造所の点検、報告に関すること。
- (7) その他火災予防事務に関すること。

保安係

- (1) 建築確認等の同意に関すること。
- (2) 消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。
- (3) 危険物製造所等の規制に関すること。
- (4) 危険物製造所等の火災予防措置に関すること。
- (5) 少量危険物、指定可燃物の火災予防措置に関すること。
- (6) 液化石油ガス貯蔵取扱施設の保安上の措置に関すること。
- (7) 高圧ガス、火薬類、核燃料物質、放射線同位元素、劇毒物等の査察及び火災予防措置 に関すること。

消防本部•署所別庁舎一覧表

区分署別	所 在 地	構造	建築面積 (㎡)	延べ面積 (㎡)	敷地面積 (㎡)
		庁舎 RC3/0 訓練塔A	2,634.42	5,413.66	
消防本部	筑西市直井 1076 番地	RC6/0	77.66	341.30	4404400
筑西消防署	平成 11 年 3 月 23 日竣工	訓練塔B			14,911.00
		S2/0	149.74	289.81	
		訓練塔C			
		S2/0	81.91	155.46	
筑西消防署	筑西市下川島 771 番地1 昭和 44 年 3 月 31 日竣工	RC2/0	58.30	58.30	265.70
川島出張所	※公民館一部消防庁舎				
筑西消防署	筑西市上野 1045 番地 1	RC1/0	259.98	259.98	3,553.24
関城分署	昭和50年4月7日竣工	NC1/U	209.96	209,96	3,303.24
筑西消防署	筑西市倉持 1123 番地 1	RC1/0	250.00	250.00	743.00
明野分署	昭和 50 年 4 月 12 日竣工	110170	200.00	200.00	1 40.00
筑西消防署	筑西市門井 1976 番地 1	RC1/0	260.82	260.82	1,886.52
協和分署	昭和50年7月 4日竣工	, .			.,
結城消防署	結城市みどり町二丁目3番地 昭和60年6月29日竣工	ALC2/0	855.41	1,371.57	3,361.45
結城消防署	結城市大字大木 1138 番地	RC1/0	250.80	250.80	1,332.18
結城南出張所	昭和50年4月1日竣工	NC1/U	250.60	250,60	1,332,16
桜川消防署	桜川市西桜川二丁目 29 番地 昭和 49 年 8 月 5 日竣工	RC1/0	442.85	436.69	1,810.08
	桜川市真壁町山尾 793 番地				
真壁分署	昭和49年7月10日竣工	RC1/0	435.20	426.40	1,224.54
桜川消防署 大和分署	桜川市羽田 1000 番地 プレハブ仮庁舎 ※平成 23 年 10 月から	仮庁舎 1/0 車庫 RC1/0	55.00 114.00	55.00 114.00	902.00

職員係別配置状況(1)

					1					I			月1日	現在)
 	±₽.	 署係	PII		計	消正	防 監	消防監	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防	消 防 副士長	消防士
4	_ q⊏	台师	iDil 消	防 長	1	Щ	1		女けり		野けり	上 坟	副上坛	
				防次長	1		'	1						
				課長	1				1					
				副参事兼課長補佐	1				1					
				課長補佐	3					3				
消	,,,,	25		庁舎建設担当	(1)					(1)				
旧	総	務	課	企画兼庁舎建設担当	(1)					(1)				
				財政担当	(1)					(1)	1	1		
				総務グループ 経理グループ	1						'	1		
				総務課付	9				1		1	2		5
				課長	1				-		-	_ _		······
防				副参事兼課長補佐	2				2					
CN	警	防	■里	課長補佐	1					1				
		כא	本	言を出	(1)					(1)				
				救急グループ	1						1			
				係員	1							1		
				課 長	1				1					
本				副参事兼指揮隊長	1									
1	管理	里統制	刮課	情報グループ	7				'	2	3	2		
				指揮グループ	9					4	5	_		
				指令センター派遣	5				1	1	3 5 3			
				課長	1				1					
				副参事兼課長補佐	1				1					
部				課長補佐	(1)					3				
٦	予	防	課	調査担当 保安担当	(1)					(1) (1)				
				<u> </u>	(1)					(1)				
				保安グループ	1					(1)	1			
				予防グループ	1						1			
			Ŋ	\ 計	56		1	1	12	14	16	7		5
				署長	1			1						
筑		副署		則島出張所長	1				1					
りん] [島庁舎担当	2				1			1		
l_				課長	1					1				
西	管	理	課	課長補佐	2 11					2	2	2	5	2
				課長補佐 総 務 係 管 理 係	18						2 3	2 1	5 8	2 6
消				課長	10					1	<u> </u>		0	<u>U</u>
	М	0 . -	- m	課長補佐	2					2				
防	消	防	課	消防係	13						3 2	3	2	5 2
P.5				保 安 係	11						2	3	4	2
署			予	防専従員	2					1		1		
首				再任用	1				_	_		1		
			月		66			1	2	7	10	12	19	15
関			分	署長	1	ļ				<u> </u>	 	ļ <u>.</u>	ļ	<u>-</u> -
城	-		総	務 係 理 係	4						1	2	2	1
	_		管消	理 係 防 係	3	ļ					1 1	 	3	
分			<u></u> 保	安 係	3							1		2 1
署			月		15					1	4	3	3	4
L			ر,		10						4	5	3	4

職員係別配置状況(2)

(令和2年4月1日現在)

	ntk (n		N/4 5	<u></u>))// D-L	>>/		和と年		<u> 現代)</u>
-	階級	計	消	览 消弧	方監			消防	消防	消防	消防士
者	係別		正見	监		司令長		司令補	士 長	副士長	
明	分署長	1					1				
	総務保	4						1	1		2
野		3						1	1	1	
分	消防係	<u>3</u> 3						1		1	1
	保安区	4						1	1	1 1	1 1
署	小 計	15	(0	0	1	4	3	3	4
ナカ	ハ 空 E	1					1				
協	総務係							1	1	1	1
和	管理係	S							Ιi	2	Ιi
		4 5 2 3						-		-	
分	保安係	2							1		
署		15		$\overline{}$	$\overline{}$	0	- 1	1	3	2	1
	ום ינ׳		(0	0	1	4	<u> </u>	3	4
	署長	1			1						
結	副署長兼南出張所長	1				1					
	課長	1					1				
tst	管理課課長補佐	1					1				
720	^医	12						2	3	4	3
М	答 ェ 	12						2 2	1 1	4 7	3 2
消	課長	1		1			1			i	 -
	無無端仕	1	,				i 1				
防	消防課品技術性	12	,					3	2	5	2
	保安係	12	ı					3 2	2 3	l	2 3
署	予防専従員	1 4						_		+	
	小二十	55			1	1	4	9	10	20	10
		55		<u> </u>			4	9	10		10
		1			1						
桜	副署長兼大和分署長	1				1					
	課長	1					1				
Ш	管理課課長補佐	1					1				
	総務係	12						2 2	2 2	4	4 3
消	管理係	12						2	2	5	3
H	課長	1		1			1]]]
	≡≡坩廾	1					1				
屷	消防課法を開始。	11						2	3	4	2
	保安係	11	1					2	3 2	4	2
署	予防専従員	1							1		
	小計	53			1	1	4	9	10	17	11
H	分署長	1				1	4	3	10	<u> </u>	<u> </u>
真		<u> </u>								 -	 -
~	課長補佐	I .					1		_	,	
壁	管理課総務係	5						1	2	1	1
1 -		6						1	1	2	2
分	課長補佐	1	,				1				
Ĭ	洞 版 ストランド	4						1	1	1	1
署	保 安 係	4						1		2	1
Ĺ	小計	22	(Э	0	1	2	4	4	6	5
	습 計	297		1	4	17	34	60	52	71	58
		297		Ц	4	1/	<u> </u>	1 00)2	_ /	_ 58

階級別勤務年数

(令和2年4月1日現在)

			1			T		2年4月1	
階級 勤続年数	計	消防监	消防監	消 防司令長	消防司令	消防司令補	消防土長	消 防副士長	消防士
1年未満	5								5
1 年	9								9
2 年	16								16
3 年	18							6	12
1 年未満 1 年 2 年 3 年 4 年	20							12	8
2 年 3 年 4 年 5 年 6 年	20							14	6
5 6 年	26							14 24	6 2
┃ 7 年 ┃	5 9 16 18 20 20 26 12 8 10						5	7	
8 年 9 年	8						3	5	
9 年	10						9	1	
1 O 年 1 1 年	9						8	1	
1 1 年	9					1	7	1	
12年	1						1		
13年	7					2 5	5		
1 4 年	8						3		
1 4 年 1 5 年 1 6 年	8				1	6	1		
16年 17年	(2	6			
18年	8 9 7				2 6	3			
19年	7				1	6			
20年	6				4	2			
20年 21年	7			1	5	1 1			
22年				'					
23年	0 7			2	3	2			
2 4 年	2				1	$\frac{1}{1}$			
2 2 年 2 3 年 2 4 年 2 5 年 2 6 年	11			4	2	5			
26年	10			1	2 6	3			
27年 28年	6			1	2 1	3			
	4			1	1	2			
29年	1					1			
30年 31年	4			2		2			
31年	0								
3 2 年 3 3 年 3 4 年 3 5 年 3 6 年	1			1					
33年	1						1		
34年	4			2			2		
30年 26年	2			1			1		
」 3 U 年 2 7 年	2 7			1			2		
り / 4 20年		4	4	1		2	4		
37年 38年 39年	2	'					'		
40年	2						2		
41年	1						1		
計	297	1	4	17	34	60	52	71	58
u i	201		- T		ロー ロー 五任田職		タイム・		

※ 再任用職員(フルタイム・短時間)を含む

階級別年齡

(令和2年4月1日現在)

FILE /: TO	,	3317	o-' '		N/ - '	X17	٠,				¥4月1	コ戏狂/
階級 年齢	計	消止	防監	消防監	消 防司令長	消司	防 令	消 防司令補	消士	防 長	消 防副士長	消防士
19歳未満	2 4 3 9 7 15 15 17 14 11									-		2243978036431
19 歳 小計	2											2
20歳	3											3
2 1 歳	9											9
22歳	7										_	7
201234 22234 25	15 15										7 5	8 10
25歳	15 15										5 12	3
26 27 28 歳 歳	17										11	6
27歳	14									0	10	4
∠ 8 歳 2 9 歳	14									2 5 7	80	ა 1
小計	120									7	11 10 6 8 59 5	54
30歳	8									3	5	
31歳	12							4		8	4 2 1	
33歳	9							1 1		7	_ 1	
31 歳 32 歳 33 34 歳 35	2									2	'	
3000000000000000000000000000000000000	12 9 9 2 7 8 9 7							4		00070000		
36 蔵	8							5		3		
36 歳 378 38 38 38	7						1	45667		S		
3 9 歳	7											
小計	78 9 7 6 9 9 5 9						1	30	(35	12	
歳歳歳歳歳歳歳歳 444444567	7						464456661	5125				
42歳	6						4	2				
43歳	9						4					
44歳 45歳 46歳 47歳	9						5	4 2322				
45 歳	9						ა 6	73				
47歳	8				55		1	2				
48 歳 49 歳	7				5			2				
.1.=	69				10	,	33	26				
小計	1				10	,		1				
5 1 歳	1				1							
52歳	3 1				1			1		1		
歳歳歳歳歳 の12345 5555555					1 2					1		
55歳	3 1 3 4 3 1			1						!		
56歳	3			_	1			1		1		
り / 蔵 5 g 等	4		1	2	1					2		
56 歳 67 8 5 5 5 5 5	1			1				1		_		
小計	21		1	4	7			4		5		
0 0 1324	3									3		
6 1 歳 小計	21 3 2 5									വ ഗയ		
合計												
	297		1	4	17 ※再仟月		34	60 フルタ-		52	71 時間)	58 を含む

※再任用職員(フルタイム・短時間)を含む

消防職員教育状況

令和元年度

種	別	人員	• 階級	受講 人員	消防 司令 以上	消防 司令 補	消防	消防副士長	消防士
		合計		91	10	28	20	8	25
	救	急	科	1		1			
大消	危	険 物	科	1	1				
大消 学防 校	N B	C	ス	1	1				
	査察マ	ネジメントコー	ス	1		1			
	東京	救命士養成研	修	2			1		1
研救 命	九州	指導救命士養	成	2		2			
修士	茨 城	救命士拡大2処	: 置	0					
	200 924	基本特定行為再請	書習	5		5			
	初任教育	初 任	科	9					9
		救 急	科	10					10
		救 助	科	3			3		
消	専科教	火 災 調 査	科	3		2	1		
防学校	育	予 防 査 察	科	3		1	2		
松		警 防	科	3		2	1		
		特 殊 災 害	科	3		1	2		
	特別教育	水 難 救 助 課	程	1			1		
		操法指導者研修	会	3		2	1		
	茨 城 !	県 救 急 医 学	会	21	5	6	3	3	4
		ノ レ ス キ ュ プ ア ク セ ス I)	1			1		
	潜	水	±	2			1		1
そ	小型船	舶免許取得講習	会	2			1	1	
そ の 他	基 掛	け 技 能 講	習	2				2	
(各種)		式クレーン運転技術請		2				2	
種)		流化水素危険作業主任者技能 	講習	2			2		
	消防職員	安全衛生管理者講習	3 会	1	1				
	ロープ高	5 所作業特別教育講	習	2	2				
	消防・救急	聚急自動車運転技能者!	果程	2		2			
	特別管理産	業廃棄物管理責任者講習	図会	3		3			

警防関係

平成29年12月に筑西消防署に配備されているはしご車を更新させ、併せて 筑西消防署の特別救助隊を筑西広域消防高度救助隊として発足させました。

現場活動では、火災、交通、水難、機械等の事故をはじめ、自然災害や特殊災害など多岐にわたる災害があり、安全・確実かつ迅速な対応が要求されることから、警防・救急及び救助の各部門において警防活動体制の充実強化を目指しています。

また救急業務において指導救命士を中心とした教育訓練体制の充実を図り、救急救命士に限らず、救急隊や連携して活動する消防隊員も高度な処置を理解したうえで活動することにより、現場活動の標準化に繋げています。医学的観点から救急救命士を含む救急隊員の行う応急処置の指導、検証体制の構築、更には消防機関と医療機関との連携の強化を目指し、圏域住民の期待と信頼に応えられるように努めてまいります。

消防ポンプ自動車等の現勢

(令和2年4月1日現在)

		+616 +	· E /\	44.50			(令和2年4月1日現在)
所属	車別	機	型式	排気量 (cc)	車名	配置年月	備 考
11-3	指揮車	普通乗用車	CBF-TRH226K	2,693	トヨタ	H22.03	
	水槽付ポンプ車	1-A型A2級	KC-FD1JEBA改	7,960	日野	H10.10	積載水 1,500 ℓ
	救急車	高規格	CBF-TRH226S	2,690	トヨタ	H21.12	R1.12 旧桜川救急車配置換え
消		普通乗用車	DBA-CV5W	2,350	三菱	H26.12	111.12 山坡川玖志羊品直关人
	火災原因調査車	普通乗用車	DBF-VM20	2,550 1,590	一 多 日 産	H29.02	
防	連絡車(プリウス)	普通乗用車	DAA-ZVW3.0	1,790	トヨタ	H22.02	
本	連絡車(ソリオ)	小型乗用車	DBA-MA26S	1,790	スズキ	H28.10	
部	連絡車(ラクティス)	小型乗用車	DBA-NSP120	1,320	トヨタ	H29.12	
Пh	連絡車(セレナ)	普通乗用車	UA-TNC24	1,990	日産	H14.06	
	連絡車(キャラバン)		CBA-KS2E26	2,480	日産	R01.07	
	マイクロバス	キャブオーバー	U-HDB51	4,160	トヨタ	H05.10	
	普通ポンプ車	CD1-A2級	SKG-XZU685M	4,000	- 1 3 5 - 1 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	H24.03	CAFS搭載・積載水600 ℓ
	水槽付ポンプ車	1-A型A2級	KK-FD1JEDA改	7,960		H14.12	積載水 1,500 ℓ
筑	救助工作車	Ⅱ型	BDG-GX7JGWA改	6,400	日野	H23.01	高度救助資機材一式
	梯子車	 30m級	2DG-PR1APJF		日野	H29.11	先端屈折式 先端屈折式
西	水 槽 車	I型小型ポンプ付	KL-FS4FRHA	8,860 20,780	日野	H14.12	積載水 9,900 ℓ
消	搬送車	普通トラック	KK-XZU421	4,890	ロ_ 野 トヨタ	H13,10	(負載が 9,900 l) 2.9tクレーン付
防	救急車	高規格	CBF-TRH226S	2,690	トヨタ	H30,12	Z.OC/V /19
署	広 報 車 連 絡 車	普通ライトバン ステーション	DBF-VY12	1,490	日産	H29,02	
	(ウィングロード) 連 終 車	ステーション ワゴン ステーション	UA-WFY11	1,490	日産	H16.11	
	使 M 手 (ウィングロード)	ヘクゴン	DBA-Y12	1,490	日産	H19.03	
川島	普通ポンプ車	CD1-A2級	2KG-XZU685M	4,000	日 野	R02.02	CAFS搭載・積載水600ℓ
出張	救 急 車	高規格	CBF-TRH226S	2,690	トヨタ	H27.12	
所	広 報 車	普通ライトバン	DBF-VZNY12	1,590	日産	R02.03	
関	水槽付ポンプ車	1-A型A2級	ADG-FD7JEWA改	6,400	日 野	H18.03	積載水 1,500 ℓ
城分	救 急 車	高規格	CBF-TRH226S	2,690	トヨタ	H25.12	
署	広 報 車	普通ライトバン	GF-WFY11	1,490	日産	H13.06	
明野	水槽付ポンプ車	1-A型A2級	ADG-FD7JEWA改	6,400	日 野	H18.03	積載水 1,500 ℓ
分	救 急 車	高規格	CBF-TRH226S	2,690	トヨタ	H27.12	
署	広 報 車	普通ライトバン	UA-WFY11	1,490	日産	H17.11	
協和	水槽付ポンプ車	1-A型A2級	ADG-FD7JEWA改	6,400	日 野	H19.03	積載水 1,500 ℓ
分	救 急 車	高規格	CBF-TRH226S	2,690	トヨタ	H25.02	
署	広 報 車	普通ライトバン	UA-WFY11	1,490	日産	H17.11	
4+	普通ポンプ車	CD1-A2級	TKG-XZU685M	4,000	日野	H27.03	CAFS搭載・積載水 600ℓ
結	救助資機材搭載型水槽 付ポンプ車	1-A型A2級	SDG-GX7JGAA改	6,400	日 野	H25.02	CAFS搭載 • 積載水 1,500 ℓ 救助資機材積載
城	化学車	Ⅱ型-A2級	KK-GD1JGDA改	7,960	日野	H11.12	積載水 1,500ℓ
消	U 7 #	"工 八乙似	TATA GO TOGOAK	1,500	⊔ ±)′	1111.14	消火薬剤 500ℓ
	梯子車		U-PR2FNAF	17,230	日野	H05.12	
防	救 急 車	高規格	CBF-TRH226S	2,690	トヨタ	H23.12	
署	搬送車	普通貨物バン	KG-SR8F23	3,150	日産	H14.02	
#	広 報 車	普通ライトバン	DBA-NZE141G	1,490	トヨタ	H23,03	
南出	水槽付ポンプ車	1-A型A2級	PB-FD7JEFA改	6,400	日 野	H17.03	積載水 1,500ℓ
張所	救 急 車	高規格	CBF-TRH226S	2,690	トヨタ	H29.03	
771	普通ポンプ車	CD1-A2級	BDG-XZU378M	4,000	日野	H19.03	積載水 600ℓ
桜	救助資機材搭載型	1-A型A2級	SDG-GX7JGAA改	6,400	日野	H25.12	CAFS搭載・積載水 1,500 ℓ
川消	水槽付ポンプ車						救助資機材積載
防	救 急 車 広 報 車	高規格普通ライトバン	CBF-TRH226S UA-WFY11	2,690 1,490	トヨタ 日 産	R01.12 H15.10	
署	火災調査車	普通乗用車	DBA-SJ5	1,490	スバル	H30.02	
\vdash	普通ポンプ車	CD1-A2級	TKG-XZU085M	4,000	日野	H30.11	CAFS搭載・積載水 600 ℓ
真壁	水槽付ポンプ車	1-A型A2級	PB-FD7JEFA改	6,400	日野	H17.03	積載水 1,500 ℓ
至分	水 信 り ホ フ ブ 単	高規格	CBF-TRH226S	2,690	トヨタ	H27.03	TRAMIN INCOME
署	広 報 車	普通ライトバン	UA-WFY11	2,090 1,490	日産	H15.10	
大和	水槽付ポンプ車	1-A型A2級	KK-FD1JEEA改	7,960	日野	H15.11	積載水 1,500 ℓ
分	救急車	高規格	CBF-TRH226S	2,690	トヨタ	H29.03	
署	× = +	ווייעינו-יו	50, 11 H EZOO	2,000		20.00	I .



消防車両等配置状況

(令和2年4月1日現在)

									(13.1		1/5 [
車両別 署所別	ポ普 ン プ 車	ポンプ車	梯子車	化学車	工救作 車助	救急車	水槽車	搬送車	指揮車	広報車	その他	<u>=</u> †
消防本部		1				1			1	% 1	7	11
筑西消防署	1	1	% 1		% 1	% 1	1	% 1		1	2	10
川島出張所	% 1					% 1				1		3
関城分署		1				1				1		3
明野分署		1				1				1		3
協和分署		1				1				1		3
結城消防署	% 1	1	1	1		1		1		1		7
南出張所		1				% 1						2
桜川消防署	1	% 1				% 1				1	1	5
真壁分署	% 1	1				1				1		4
大和分署		1				1						2
合計	5	10	2	1	1	11	1	2	1	9	10	53

※は緊急消防援助隊登録車両

救急・救助業務について

私達の生活の中で発生する様々な事故に対応するのが救急・救助業務です。小さい怪我から生命にかかわる大事故まで、その内容は多種多様にわたります。

令和元年度中の広域圏内の救急活動状況を見ると、救急隊の出場件数は8,788件で搬送人員については、8,130人に上ります。これは1日あたり24.0件、圏内住民の24.1人に1人が救急隊によって搬送されたことになります。

救急隊の出場件数を事故種別で見ると、急病が一番多く5,631件で全体の64.0%を占めています。次いで、一般負傷が1,191件で全体の13.5%、転院搬送が897件で10.2%となっています。

広域圏内救急件数

(令和元年度)

事故		火	自	水	交	労	浬		加		急	そ	の	他	3	不
故種別	計		- 然災	<i>\(\)</i>	X	働災	運動競	般負	Ŋυ	損行	心	転 院	医師	資 材	そ	搬
\		災	害	難	通	害	技	傷	害	為	病	搬送	搬送	搬送	の他	送
区分												ļ	<u> </u>	Į		
出場件数	8,788	15		5	711	107	29	1,191	43	64	5,631	897			95	
搬送件数	8,045	11		1	636	103	29	1,124	28	35	5,189	884			5	743
搬送人員	8,130	12		1	714	103	29	1,125	28	36	5,193	884			5	

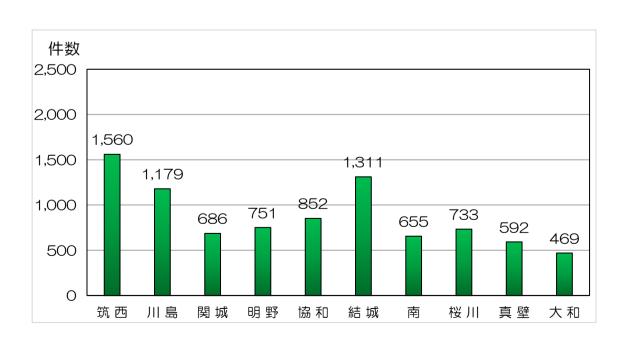
広域圏内覚知別出場件数

(令和元年度)

事故		火	自	水	交	労	運		力D	自	急	そ	の	他]	不
事故種別区分	計	災災	o 然災害	難	通	働災害	運動競技 技	般負傷	害	日損 行為	病	転院搬送	医師搬送	資材搬送	その他	搬送
携帯119	3,200	6		2	424	51	19	477	19	29	2,148	7			18	288
固定119	4,863	4			186	45	8	601	17	23	3,066	875			38	347
加入電話	294			1	14	6	2	57		2	198	12			2	20
駆け付け	152				4	3		26	1	2	115	1				7
その他	279	5		2	83	2		30	6	8	104	2			37	81
合 計	8,788	15		5	711	107	29	1,191	43	64	5,631	897			95	743

各署別 • 月別救急出場件数

											(15	1 U J U 1 1	121
月別署別	計	4	5	6	7	80	0)	10	11	12	1	2	თ
筑西	1,560	122	118	111	135	150	119	103	126	164	146	130	136
川島	1,179	85	98	87	110	124	81	100	91	112	109	86	96
関城	686	57	46	55	54	74	49	51	45	73	65	64	53
明野	751	66	52	55	49	75	63	53	67	68	63	67	73
協和	852	69	73	60	72	85	68	55	64	96	71	72	67
結 城	1,311	98	95	111	123	110	90	114	107	111	131	113	108
南	655	60	42	56	56	61	46	48	53	61	53	61	58
桜川	733	57	62	58	57	82	56	66	66	64	58	52	55
真壁	592	50	56	51	52	49	48	50	37	60	55	42	42
大和	469	42	38	22	42	50	44	35	46	48	37	34	31
合計	8,788	706	680	666	750	860	664	675	702	857	788	721	719



年齡区分別 • 傷病程度別搬送人員

(令和元年度)

年齡区分	計	新生児	乳幼児	少年	成人	高齡者
傷病程度		生後28日以内	29日~7歳未満	7~18歳未満	18~65歳未満	65歳以上
死 亡	159			1	20	138
重症	903	3	6	9	212	673
中等症	3,845	27	90	101	973	2,654
軽 症	3,220	3	239	199	1,278	1,501
その他	3	1			1	1
合計	8,130	34	335	310	2,484	4,967

事故種別・傷病程度別搬送人員

年齡区分		火	自	水	交	労	運	_	DO	自	急	そ
	計		然			働	動	般		損		の
			災			災	競	負		行		
傷病程度		災	害	難	通	害	技	傷	害	為	病	他
死 亡	159			1	3	1		7		თ	143	1
重症	903	1			33	13	2	75		4	544	231
中等症	3,845	5			177	50	00	511	4	17	2,493	580
軽 症	3,220	6			501	39	19	532	24	12	2,011	76
その他	3										2	1
合計	8,130	12	0	1	714	103	29	1,125	28	36	5,193	889

過去5年間の救急出場状況

(令和元年度)

												,	コイロン い	1/2/
事	故種別	合	火	自	水	交	労	運	_	力D	自	急	そ	_
			<i>X</i>	然	小	文	働	動	般	IJU	損	心		В
				災			災	競	負		行		の	並
年度	別	計	災	害	難	通	害	技	傷	害	為	病	他	均
1107	出場件数	8,200	20	1	3	910	82	22	984	48	86	5,122	922	22.5
H27	搬送人員	7,638	13			910	83	22	917	35	64	4,727	867	20.9
1100	出場件数	8,215	25		7	859	82	38	998	40	65	5,256	845	22.4
H28	搬送人員	7,604	26		2	853	82	39	935	27	41	4,849	750	20.8
H29	出場件数	8,600	17		10	855	97	34	1,096	40	84	5,432	935	23.5
n 2 9	搬送人員	8,017	11		3	906	95	34	1,037	31	56	5,007	837	21.9
H30	出場件数	8,873	17		8	730	129	34	1,175	48	68	5,674	990	24.3
1130	搬送人員	8,252	11		4	753	128	33	1,105	33	40	5,241	904	22.6
R元	出場件数	8,788	15		5	711	107	29	1,191	43	64	5,631	992	24.1
ולח	搬送人員	8,130	12		1	714	103	29	1,125	28	36	5,193	889	22.3

救助出場状況

						(DADA	1 .24,
事故種別月	火 災 災 (要救助者有り)	交通事故	水 難 事 故	機 械 事 故	建 物 事 故	その他の事故	月合計
平成31年 4月	7	7	1	1	0	5	21
令和元年 5月	9	6	0	0	0	2	17
令和元年 6月	5	2	1	0	0	2	10
令和元年 7月	9	7	0	0	0	5	21
令和元年 8月	7	2	1	0	0	4	14
令和元年 9月	5	4	0	1	0	4	14
令和元年10月	4	7	0	0	0	6	17
令和元年11月	7	8	0	0	0	5	20
令和元年12月	4	3	1	1	0	5	14
令和2年 1月	2	3	2	0	2	1	10
令和2年 2月	8	4	0	0	2	2	16
令和2年 3月	2	5	0	0	0	1	8
出場別合計	69	58	6	3	4	42	182

消防隊救急支援(PA連携)出場状況

(令和元年度)

事故種別			その他	の支援	
区分	CPA	搬出困難	加害	交通事故 その他	合 計
令和元年度	958	367	25	278	1,628

ドクターヘリ出場状況

(令和元年度)

事故種別 区 分	急病	交通	一般負傷	水難	自損行為	労働災害	運動競技	火災	その他	合計
要請件数	57	13	21		1	13	2	1	ω	111
搬送件数	26	9	12		1	10	1	1	3	63

ドクターカー出場状況

(令和元年度)

事故種別 区 分	急病	交通	一般負傷	転院搬送	自損行為	労働災害	運動競技	火災	その他	合計
要請件数	17	7	5	1	1	1				32
搬送件数	11	7	1	1	1					21

熱中症出場状況

(令和元年5月~10月)

区分	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
出場件数	13	16	31	82	80	0	150

管理統制関係

管理統制課では、災害現場の活動統制を行う指揮グループと災害情報等の収集・管理を行う情報グループが相互に連携し、最新の情報システムを活用し、防火対象物情報、危険物施設情報、水利情報、救急医療情報、その他の現場活動に必要な支援情報を的確に伝え、より高度で効率・効果的な圏域住民へのサービスの提供と、災害による被害の軽減、救命率の向上をめざします。

指揮隊出場状況

(令和元年度)

種別		<u>)</u>	火災			\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	救急	その	ドクター	纷山 担 / 米 /
市別	建物	車両	林野	その 他	小計	救助	支援	他	ヘリ支援	総出場件数
筑西市	45	12	0	25	82	60	0	1	49	192
結城市	8	3	0	9	20	24	1	0	21	66
桜川市	10	3	1	13	27	27	1	0	24	79
管 外	0	1	0	2	3	2	1	0	0	6
合 計	63	19	1	49	132	113	3	1	94	343

消防水利の現況

令和2年4月1日現在

種別		次 第 1	消火栓			防火	水槽			Ļ	その	₩	六
ומ	計	消火栓 		10	Om	40)㎡	20	Om³	ノール	他の	基 準 数	充 足 率
市別		公設	私設	公設	私設	公設	私設	公設	私設	,0	水利	**	+
筑西市	3,312	2,257	1	5	4	732	126	158	7	20	2	2,823	117%
結城市	1,359	1,019	1	4	1	201	30	79	10	14	0	1,174	116%
桜川市	1,427	848	2	8	0	308	57	123	0	14	67	1,451	98%
合計	6,098	4,124	4	17	5	1,241	213	360	17	48	69	5,448	112%







119番通報着信統計

(令和元年度)

L .											(10 10	
	火災	救急	救助	その他災害	同報	間 違 い	いたずら	通試 報 訓験 練・	その他	問合せ等	他本部転送	合計
4月	16	626	12	7	45	34	2	47	32	65	5	891
5月	14	600	7	8	59	26	2	19	38	96	4	873
6月	9	596	4	13	20	31	5	25	35	68	11	817
7月	12	670	10	5	40	45	8	46	43	77	8	964
8月	10	753	5	12	47	34	7	25	51	104	8	1,056
9月	12	583	9	31	31	44	2	55	48	82	5	902
10月	10	591	13	39	48	51	6	41	54	69	3	925
11月	0	612	11	13	38	35	4	23	34	54	8	841
12月	4	754	10	14	35	31	4	22	34	84	4	996
1月	5	712	8	13	33	40	3	17	46	97	1	975
2月	20	649	7	11	44	29	3	24	35	54	6	882
3月	5	650	4	12	40	38	3	34	48	59	4	897
合計	126	7,796	100	178	480	438	49	378	498	909	67	11,019
月平均	11	650	8 * o ž /=	15	40	37	4	32	42	76	6	918

※1日あたり約30件の着信

(いばらき消防指令センター提供)



緊急通報システム利用状況

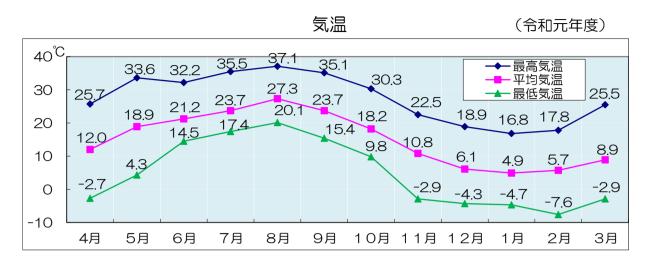
(令和元年度)

Bar 1 1 1 3 3 3 3 3 3 3		+ 0.11	ı	Т		令和元年度)
月別 578 303 189 1,070 4月 緊急出場 1 1 1 3 その他相談等 13 2 3 18 家急出場 4 0 3 7 5月 課報 9 9 2 20 その他相談等 16 14 1 31 10 31 31 31 4 1 31 32		市別は	筑西市	結城市	桜川市	合 計
Yellow Yellow			578	303	189	1,070
4月 誤報 30 7 1 38 その他相談等 13 2 3 18 第急出場 4 0 3 7 5月 誤報 9 9 2 20 その他相談等 16 14 1 31 6月 誤報 16 14 6 36 その他相談等 20 2 0 22 「月月 誤報 20 14 13 47 その他相談等 30 0 2 32 緊急出場 8 3 4 15 その他相談等 30 16 5 5 9月 誤報 13 16 12 41 その他相談等 30 16 5 5 5 9月 誤報 12 13 6 146 東急出場 5 0 1 6 43 その他相談等 127 13 6 146 東急出場 5 3 0 8 10月 誤報 27 11 8 46 その他相談等 27 11 8 46 その他相談等 247 163 27	ומ כו		1	1	1	.3
その他相談等 13 2 3 18 緊急出場 4 0 3 7 長報報 9 9 2 20 その他相談等 16 14 1 31 日期報 16 14 6 36 その他相談等 20 2 0 22 緊急出場 6 0 5 11 その他相談等 30 0 2 32 緊急出場 8 3 4 15 その他相談等 30 16 5 51 緊急出場 5 0 1 6 その他相談等 127 13 6 146 その他相談等 127 13 6 146 その他相談等 481 11 5 497 緊急出場 9 3 2 14 11月 課報 8 12 1 21 その他相談等 247 163 27	4 月			7		
5月 緊急出場 4 0 3 7 長の他相談等 16 14 1 31 8月 第急出場 5 4 1 10 6月 誤報 16 14 6 36 その他相談等 20 2 0 22 緊急出場 6 0 5 11 7月 誤報 20 14 13 47 その他相談等 30 0 2 32 緊急出場 8 3 4 15 8月 計 13 16 12 41 40 長齢報 18 19 6 43 40 長齢報 127 13 6 146 40 長齢報 127 13 6 146 40 長齢報 11 5 497 40 長齢報 11 5 497 40 長齢報 14 14 15 40 長齢報 14<				2	·	
5月 誤報 9 2 20 その他相談等 16 14 1 31 6月 課報 16 14 6 36 子の他相談等 20 2 0 22 聚急出場 6 0 5 11 7月 誤報 20 14 13 47 その他相談等 30 0 2 32 緊急出場 8 3 4 15 その他相談等 30 16 5 5 9月 誤報 18 19 6 43 その他相談等 127 13 6 146 その他相談等 127 13 6 146 その他相談等 127 13 6 146 その他相談等 481 11 5 497 緊急出場 9 3 2 14 その他相談等 247 163 27 437 11月 誤報 5 6 4 15 その他相談等 39 397 10 446 その他相談等 19 17 4 40 その他相談等 14 291 249 554 財験 9 <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>7</td>						7
その他相談等 16 14 1 31 緊急出場 5 4 1 10 誤報 16 14 6 36 その他相談等 20 2 0 22 緊急出場 6 0 5 11 その他相談等 30 0 2 32 暴月 緊急出場 8 3 4 15 8月 13 16 12 41 その他相談等 30 16 5 51 9月 13 16 12 41 その他相談等 30 16 5 51 9月 18報 19 6 43 その他相談等 127 13 6 146 その他相談等 127 13 6 146 その他相談等 481 11 5 497 緊急出場 27 11 8 46 その他相談等 247 163 27 437 11月 12月 13 6 2 3 11 12月 13報 6 2 3 11 11 12月 20 13 11 11 10 10 <td< td=""><td>5 月</td><td></td><td>9</td><td>9</td><td></td><td>20</td></td<>	5 月		9	9		20
6 月 誤報 16 14 6 36 その他相談等 20 2 0 22 下 月			16	14	1	
その他相談等 20 2 0 22 11 7 月 誤報 20 14 13 47 20 20 32 32 32 32 33 4 15 30 16 5 51 30 16 5 51 30 30 30 30 30 30 30 3		緊急出場	5	4	1	10
YR急出場 G O S 11	6 月	誤報	16	14	6	36
7月 誤報 20 14 13 47 その他相談等 30 0 2 32 緊急出場 8 3 4 15 8月 誤報 13 16 12 41 その他相談等 30 16 5 51 緊急出場 5 0 1 6 その他相談等 127 13 6 146 その他相談等 127 13 6 148 緊急出場 5 3 0 8 その他相談等 481 11 5 497 緊急出場 9 3 2 14 11月 誤報 8 12 1 21 その他相談等 247 163 27 437 緊急出場 6 2 3 11 12月 誤報 5 6 4 15 その他相談等 39 397 10 446 緊急出場 6 3 1 10 よの他相談等 14 291 249 554 緊急出場 9 2 0 11 その他相談等 158 7 189 354 その他相談等 158		その他相談等	20	2	0	22
その他相談等 30 0 2 32 緊急出場 8 3 4 15 誤報 13 16 12 41 その他相談等 30 16 5 51 緊急出場 5 0 1 6 その他相談等 127 13 6 146 緊急出場 5 3 0 8 裏報 27 11 8 46 その他相談等 481 11 5 497 緊急出場 9 3 2 14 書 2 3 1 2 その他相談等 247 163 27 437 工月 裏場出場 6 2 3 1 12月 誤報 5 6 4 15 その他相談等 39 397 10 446 緊急出場 6 3 1 10 緊急出場 6 3 1 10 その他相談等 14 291 249 554 その他相談等 158 7 189 354 その他相談等 158 7 189 354 その他相談等 158 7 189 <		緊急出場	6	0	5	11
8月 緊急出場 8 3 4 15 誤報 13 16 12 41 その他相談等 30 16 5 51 緊急出場 5 0 1 6 その他相談等 127 13 6 146 緊急出場 5 3 0 8 裏場出場 5 3 0 8 その他相談等 481 11 5 497 緊急出場 9 3 2 14 その他相談等 247 163 27 437 緊急出場 6 2 3 11 12月 誤報 5 6 4 15 その他相談等 39 397 10 446 緊急出場 6 3 1 10 緊急出場 6 3 1 10 実際出場 6 2 1 9 その他相談等 14 291 249 554 緊急出場 6 2 1 9 その他相談等 158 7 189 354 その他相談等 158 7 189 354 不の他相談等 158 7 189 <t< td=""><td>7 月</td><td>誤報</td><td>20</td><td>14</td><td>13</td><td>47</td></t<>	7 月	誤報	20	14	13	47
8月 誤報 13 16 12 41 その他相談等 30 16 5 51 緊急出場 5 0 1 6 経験 18 19 6 43 その他相談等 127 13 6 146 緊急出場 5 3 0 8 その他相談等 481 11 5 497 緊急出場 9 3 2 14 11月 誤報 8 12 1 21 その他相談等 247 163 27 437 緊急出場 6 2 3 11 12月 誤報 5 6 4 15 その他相談等 39 397 10 446 緊急出場 6 3 1 10 その他相談等 14 291 249 554 緊急出場 6 2 1 9 その他相談等 158 7 189 354 その他相談等 158 7 189 354 系急出場 6 4 4 4 その他相談等 158 7 189 354 子の他相談等 158 7		その他相談等	30	0	2	32
その他相談等 30 16 5 51 緊急出場 5 0 1 6 誤報 18 19 6 43 その他相談等 127 13 6 146 緊急出場 5 3 0 8 10月 誤報 27 11 8 46 その他相談等 481 11 5 497 緊急出場 9 3 2 14 11月 誤報 8 12 1 21 その他相談等 247 163 27 437 Yân 16 4 15 Yân 16 3 1 1 Yân 10 10 10 10 10 Yân 10 10 10 10 10 Yân 10 10 10 10 10 10 Yân 10 10 10 10 10 1		緊急出場	8	3	4	15
9月 緊急出場 5 0 1 6 2の他相談等 127 13 6 146 聚急出場 5 3 0 8 10月 誤報 27 11 8 46 その他相談等 481 11 5 497 緊急出場 9 3 2 14 11月 誤報 8 12 1 21 その他相談等 247 163 27 437 緊急出場 6 2 3 11 12月 誤報 5 6 4 15 その他相談等 39 397 10 446 緊急出場 6 3 1 10 1月 誤報 19 17 4 40 その他相談等 14 291 249 554 緊急出場 9 2 0 11 その他相談等 158 7 189 354 緊急出場 3 0 4 7 3月 誤報 6 16 4 26 その他相談等 16 4 24 44 会 20 11 20 11 その他相談等 <td>8 月</td> <td>誤報</td> <td>13</td> <td>16</td> <td>12</td> <td>41</td>	8 月	誤報	13	16	12	41
9月 誤報 18 19 6 43 その他相談等 127 13 6 146 緊急出場 5 3 0 8 10月 誤報 27 11 8 46 その他相談等 481 11 5 497 緊急出場 9 3 2 14 11月 誤報 8 12 1 21 その他相談等 247 163 27 437 緊急出場 6 2 3 11 12月 誤報 5 6 4 15 その他相談等 39 397 10 446 緊急出場 6 3 1 10 その他相談等 14 291 249 554 緊急出場 6 2 1 9 2月 誤報 9 2 0 11 その他相談等 158 7 189 354 3月 誤報 6 16 4 26 その他相談等 158 7 189 354 3月 誤報 6 16 4 24 その他相談等 16 4 24 44 <		その他相談等	30	16	5	51
その他相談等 127 13 6 146 緊急出場 5 3 0 8 誤報 27 11 8 46 その他相談等 481 11 5 497 緊急出場 9 3 2 14 11月 誤報 8 12 1 21 その他相談等 247 163 27 437 緊急出場 6 2 3 11 12月 誤報 5 6 4 15 その他相談等 39 397 10 446 緊急出場 6 3 1 10 その他相談等 14 291 249 554 緊急出場 6 2 1 9 2月 誤報 9 2 0 11 その他相談等 158 7 189 354 第急出場 3 0 4 7 3月 誤報 6 16 4 26 その他相談等 16 4 24 44 会の他相談等 16 4 24 44 会の他相談等 16 4 24 44 会の他相談等 16		緊急出場	5	0	1	6
10月 緊急出場 5 3 0 8 誤報 27 11 8 46 その他相談等 481 11 5 497 緊急出場 9 3 2 14 11月 誤報 8 12 1 21 その他相談等 247 163 27 437 緊急出場 6 2 3 11 12月 誤報 5 6 4 15 その他相談等 39 397 10 446 緊急出場 6 3 1 10 4 20 3 1 10 4 20 4 4 4 4 291 249 554 2月 誤報 9 2 0 11 その他相談等 158 7 189 354 3月 誤報 6 16 4 26 その他相談等 16 4 24 44 会別 18 16 4 24 44 4 24 44 44 4 24 24 44 4 24 24 24 44	9 月	誤報	18	19	6	43
1 0月 誤報 27 11 8 46 その他相談等 481 11 5 497 緊急出場 9 3 2 14 1 1月 誤報 8 12 1 21 その他相談等 247 163 27 437 緊急出場 6 2 3 11 1 2月 誤報 5 6 4 15 その他相談等 39 397 10 446 緊急出場 6 3 1 10 4 20 446 緊急出場 19 17 4 40 その他相談等 14 291 249 554 緊急出場 9 2 0 11 その他相談等 158 7 189 354 緊急出場 3 0 4 7 誤報 6 16 4 26 その他相談等 16 4 24 44 会別出場 6 21 26 111 合計 3 0 4 7 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 <td< td=""><td></td><td>その他相談等</td><td>127</td><td>13</td><td>6</td><td>146</td></td<>		その他相談等	127	13	6	146
その他相談等 481 11 5 497 緊急出場 9 3 2 14 誤報 8 12 1 21 その他相談等 247 163 27 437 緊急出場 6 2 3 11 誤報 5 6 4 15 その他相談等 39 397 10 446 緊急出場 6 3 1 10 4 40 291 249 554 その他相談等 14 291 249 554 緊急出場 9 2 0 11 その他相談等 158 7 189 354 緊急出場 3 0 4 7 誤報 6 16 4 26 その他相談等 16 4 24 44 会の他相談等 16 4 24 44 会別 64 21 26 111 合計 180 143 61 384		緊急出場	5	3	0	
緊急出場 9 3 2 14 誤報 8 12 1 21 その他相談等 247 163 27 437 緊急出場 6 2 3 11 12月 誤報 5 6 4 15 その他相談等 39 397 10 446 緊急出場 6 3 1 10 計 14 291 249 554 緊急出場 6 2 1 9 2月 誤報 9 2 0 11 その他相談等 158 7 189 354 緊急出場 3 0 4 7 誤報 6 16 4 26 その他相談等 16 4 24 44 会の他相談等 16 4 24 44 会別 16 4 24 44 会別 18 18 143 61 384	10月			11		
11月 誤報 8 12 1 21 その他相談等 247 163 27 437 緊急出場 6 2 3 11 12月 誤報 5 6 4 15 その他相談等 39 397 10 446 緊急出場 6 3 1 10 共和 19 17 4 40 その他相談等 14 291 249 554 緊急出場 6 2 1 9 2月 誤報 9 2 0 11 その他相談等 158 7 189 354 緊急出場 3 0 4 7 3月 誤報 6 16 4 26 その他相談等 16 4 24 44 全の他相談等 16 4 24 44 会別 18 18 14 21 26 111 会別 18 180 143 61 384		その他相談等	481	11		497
その他相談等 247 163 27 437 緊急出場 6 2 3 11 12月 誤報 5 6 4 15 その他相談等 39 397 10 446 緊急出場 6 3 1 10 1月 誤報 19 17 4 40 その他相談等 14 291 249 554 緊急出場 6 2 1 9 2月 誤報 9 2 0 11 その他相談等 158 7 189 354 緊急出場 3 0 4 7 3月 誤報 6 16 4 26 その他相談等 16 4 24 44 会の他相談等 16 4 24 44 会別 18 64 21 26 111 合計 384 180 143 61 384		緊急出場	9	3	2	14
12月 緊急出場 6 2 3 11 誤報 5 6 4 15 その他相談等 39 397 10 446 緊急出場 6 3 1 10 誤報 19 17 4 40 その他相談等 14 291 249 554 緊急出場 6 2 1 9 誤報 9 2 0 11 その他相談等 158 7 189 354 不 緊急出場 3 0 4 7 誤報 6 16 4 26 その他相談等 16 4 24 44 会の他相談等 16 4 24 44 会別出場 64 21 26 111 会別出場 180 143 61 384	11月	誤報		12	1	
12月 誤報 5 6 4 15 その他相談等 39 397 10 446 緊急出場 6 3 1 10 1月 誤報 19 17 4 40 その他相談等 14 291 249 554 緊急出場 6 2 1 9 2月 誤報 9 2 0 11 その他相談等 158 7 189 354 緊急出場 3 0 4 7 会の他相談等 16 4 24 44 会の他相談等 16 4 24 44 会別出場 64 21 26 111 合計 誤報 180 143 61 384			247	163		437
その他相談等 39 397 10 446 緊急出場 6 3 1 10 誤報 19 17 4 40 その他相談等 14 291 249 554 緊急出場 6 2 1 9 2月 誤報 9 2 0 11 その他相談等 158 7 189 354 緊急出場 3 0 4 7 高計 誤報 6 16 4 26 その他相談等 16 4 24 44 公の他相談等 16 4 26 111 合計 3 64 21 26 111 合計 3 180 143 61 384						
1 月緊急出場63110誤報1917440その他相談等14291249554緊急出場62192 月誤報92011その他相談等1587189354緊急出場3047誤報616426その他相談等1642444緊急出場642126111合計誤報18014361384	12月	誤報		6		
1月 誤報 19 17 4 40 その他相談等 14 291 249 554 緊急出場 6 2 1 9 2月 誤報 9 2 0 11 その他相談等 158 7 189 354 緊急出場 3 0 4 7 誤報 6 16 4 26 その他相談等 16 4 24 44 緊急出場 64 21 26 111 合計 誤報 180 143 61 384					10	
その他相談等 14 291 249 554 緊急出場 6 2 1 9 誤報 9 2 0 11 その他相談等 158 7 189 354 緊急出場 3 0 4 7 誤報 6 16 4 26 その他相談等 16 4 24 44 緊急出場 64 21 26 111 合計 誤報 180 143 61 384					1	
2月 緊急出場 6 2 1 9 2月 誤報 9 2 0 11 その他相談等 158 7 189 354 緊急出場 3 0 4 7 誤報 6 16 4 26 その他相談等 16 4 24 44 緊急出場 64 21 26 111 合計 誤報 180 143 61 384	1 月					
2月 誤報 9 2 0 11 その他相談等 158 7 189 354 緊急出場 3 0 4 7 誤報 6 16 4 26 その他相談等 16 4 24 44 緊急出場 64 21 26 111 合計 誤報 180 143 61 384						
その他相談等 158 7 189 354 緊急出場 3 0 4 7 3 月 誤報 6 16 4 26 その他相談等 16 4 24 44 緊急出場 64 21 26 111 合計 誤報 180 143 61 384					_	
S 緊急出場 3 0 4 7 誤報 6 16 4 26 その他相談等 16 4 24 44 緊急出場 64 21 26 111 合計 誤報 180 143 61 384	2 月			_		
3月 誤報 6 16 4 26 その他相談等 16 4 24 44 緊急出場 64 21 26 111 合計 誤報 180 143 61 384						354
その他相談等1642444緊急出場642126111合計誤報18014361384						7
緊急出場642126111合計誤報18014361384	3月					
合 計 誤報 180 143 61 384						
I チの他相談等 I 1 1 0.1 I Ω20 I 5.21 Ω20 I 5.21 Ω20 I	合計					
	<u> </u>	その他相談等	1,191	920	521	2,632

※その他相談等にはシステム保守点検通報件数が含まれます。

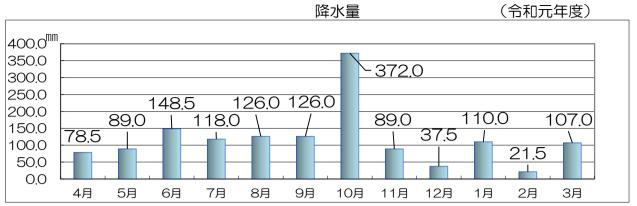
気象観測状況

観測地点は筑西市直井1076番地(標高41m設置) 筑西広域市町村圏事務組合消防本部の気象観測装置で観測したもの









	T.	4			警報	• 營		·注意		(水	戸地	方気	象台	発記				和元年	度)		
	ļ	4	守別	警報	!			警報							1	注意	辩	T			
		暴風	暴風雪	大雨	大雪	暴風	暴風雪	大雨	大雪	洪水	風雪	強風	大雨	大雪	洪水	着雪	乾 燥	濃霧	電相	低温	雷
	4											5					5	5	13		8
	5											2	1		1		2	13			9
	6											1	2		1			15			11
	7											3	2		1			17			14
	8											1	2		2			13		<u> </u>	17
筑	9					1		1				3	4		3			13			7
西	10			1		1		3		2		5 3	5		5			5		<u> </u>	6
市	11														3		1	6	11	<u> </u>	4
	12											4						8			2 4 6
	1											4	1		1			6		2	4
	2											4					4	5		4	6
	3	0		4				4		0		6	47	1	47		2	6	0.4		5
	計	0	0	1	0	2	0	4	0	2	0	41	17	1	17	0	14	112	24	6	
	4											5					5 0	5	13		8
	5 6											2	3		1		2	13 15			11
	7											3	2		1			17			
	8											1	3		2			13			14 17
幺	9					1		1		1		3	4		3			13			7
結城	10			1		1		3		2		5	4		5			5			6
市	11			ı				J				3			1		1	6	11		4
רוי	12											4						8	' '		2
	1											4	1		1			6		2	4 2 4 6
	2											4	•		•		4	5		4	6
	3											6					2	6			5
	計	0	0	1	0	2	0	4	Ο	3	0	41	18	0	15	0	14	112	24	6	
	4											5					5	5	13		8
	5											2	1		1		2	13			9
	6											1						15			11
	7											3	3		2			17			14
	8											1	4		2			13			17
桜	9					1		1		1		3	4		3			13			7
Ш	10			1		1		3		2		5	6		4			5			6
市	11											3			1		1	6	11		4
	12											4						8		<u> </u>	4 2 4 6 5
	1											4	2		2			6		2	4
	2											4					4	5		4	6
	3											6		1			2	6			5
	計	Ο	0	1	0	2	0	4	0	3	0	41	20	1	15	0	14	112	24	6	93

予防関係

火災について

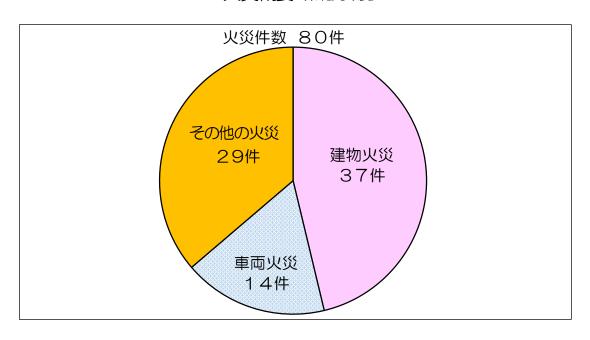
筑西広域管内における令和元年度の総出火件数は80件で、前年度と比較して37件の減少です。

総出火件数中、建物火災が37件で、全体の46%と約半数を占めています。 出火原因別では、たき火によるものが24件で全体の30%を占めており、次 に放火(疑いを含む)が18件で23%となっています。たき火については、 一人ひとりが責任を持って消火まで立ち会う事が大切です。放火予防対策とし ては、地域住民が危機意識を持つことが重要です。人が侵入しやすい場所は施 錠の管理をきちんと行うこと、照明器具を設置し暗がりを作らないこと、建物 の周囲に燃えやすい物を放置しないことを心掛けましょう。

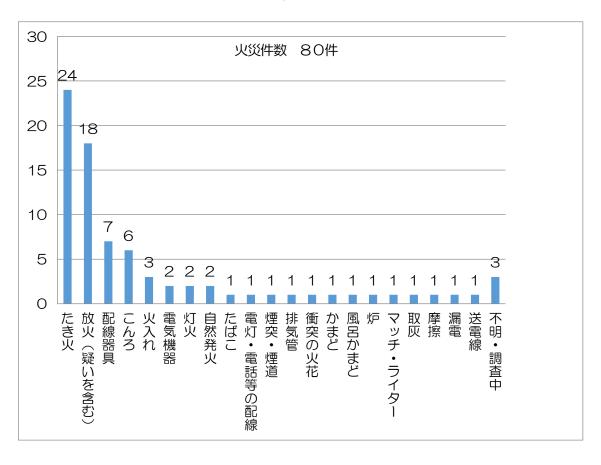
また、たき火、放火に次いで配線器具など、電気が原因となる火災が12件発生しています。電気は火のように、目に見えるエネルギーと違い、ついつい使用方法などに気が緩みがちです。電気の取扱いを間違えば火災に至るエネルギーを持っています。再度、使用方法を確認し適正使用に努めましょう。

令和元年度における火災による死者は5名(昨年度同数)、負傷者は12名(1名減少)となっていますが、高齢者が占める割合が多く、今後は高齢者の防火対策が重要な課題です。その対策のひとつとして、早期に火災を発見し警報音で知らせる、住宅用火災警報器等を設置しましょう。また、設置から10年が経過すると電池や電子部品の寿命により、火災を感知しなくなることがあるため点検や交換を徹底することが、被害の軽減につながる第一歩です。

火災概要 (令和元年度)

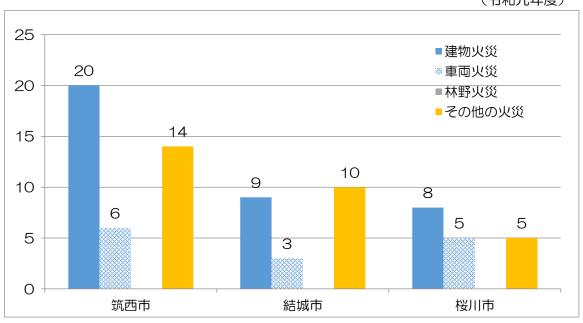


主な出火原因 (令和元年度)

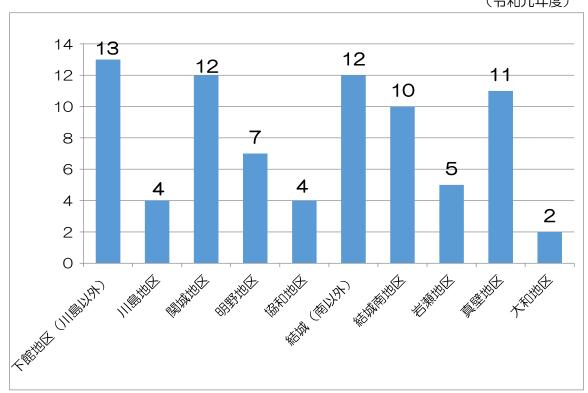


市別火災種別

(令和元年度)



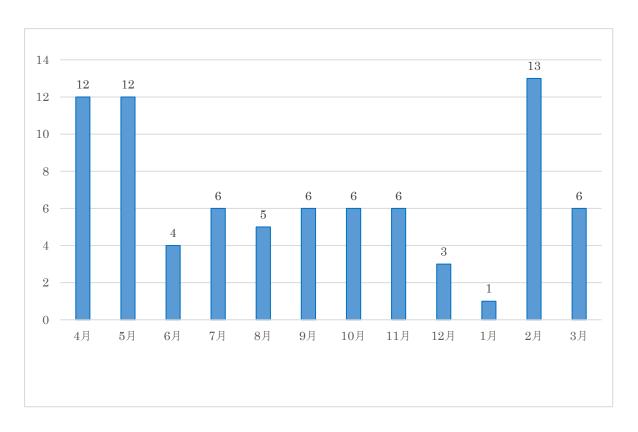
地区別出火件数



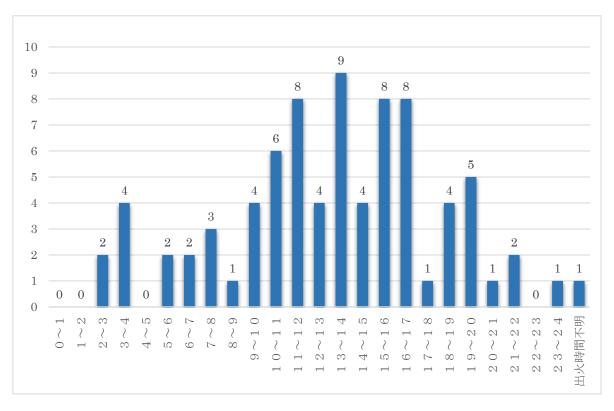
市別火災状況

		1	-	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	可以一个人	
種別	市別	単位	計	筑西市	結城市	桜川市
	全焼		34	24	1	9
建物焼損棟数	半焼		1	1	0	0
焼 損	部分焼	棟	19	7	4	8
棟 数	ぼや		18	11	3	4
	合計		72	43	8	21
焼	床面積		2,527	1,735	24	768
焼損面積	表面積	m ^²	39	14	3	22
積	合計		2,566	1,749	27	790
林野	P.烷損面積	а	0	0	0	0
	全損		12	7	0	5
罹災世帯	半損	世帯	1	1	0	О
世 帯	小損	四'市'	13	6	4	3
	合計		26	14	4	8
化	星災者数	人	74	46	13	15
	建物火災		297,780	108,441	142,905	46,434
1 8	林野火災		0	0	0	0
損 害 額	車両火災	千円	4,000	2,835	605	560
缺	その他の火災		31,017	30,182	631	204
	合計		332,797	141,458	144,141	47,198
- TT	死者		5	1	2	2
死 傷 者	傷者	人	12	8	1	3
	合計		17	9	3	5

月別出火件数 (令和元年度)



時間別出火件数 (令和元年度)



危険物

危険物は、その性質により第1類から第6類までに区分されています。

このうち石油類を中心とした第4類の危険物が大半を占めており、危険物988施設のうち第4類を貯蔵し又は取扱う施設が952施設あり、96.4%に及んでいます。

これらの施設においては、一度事故が発生すると大規模な被害が生じることが多く、負傷者が発生することもあるため、取扱う人の充分な知識と安全管理への取組が重要となります。

危険物規制対象施設数 (令和2年4月1日現在)

区分		施設数	設置許可施設	完成検査済証交付施設
		5 倍以下	313	312
	5倍	を超え 10 倍以下	231	230
	10	11 50 11	241	240
	50	11 50 11	85	85
米力	100	11 150 11	38	37
数 量 別	150	11 200 11	28	28
別	200	11 1,000 11	50	50
	1,000	011 5,000 11	1	1
	5,000)11 10,000 11	1	1
	10,00	0 倍を超えるもの	0	0
		合 計	988	984
		第 1 類	2	2
		第 2 類	3	3
	単	第 3 類	1	1
種	単独	第 4 類	952	948
種 別		第 5 類	7	7
		第 6 類	1	1
		混 在	22	22
		合 計	988	984

市別危険物施設数 (令和2年4月1日現在)

	市別	筑西市	結城市	桜川市	合 計
製造	5所等別	7)(1691b	바마카 와 다	付けり	
	製造所	9	3	3	15
	屋内	99	49	23	171
	屋外タンク	117	14	29	160
貯	屋内タンク	4	0	5	9
蔵	地下タンク	67	32	31	130
所	簡易タンク	0	0	0	0
	移動タンク	72	32	9	113
	屋外	12	5	19	36
取	給 油	106	42	45	193
扱	第一種販売	0	0	1	1
所	— 般	99	34	23	156
	合 計	585	211	188	984

危険物施設立入検査状況 (令和元年度)

	区分		查察	件数	查察人員
製造	5所等別	施設数	回数	検査割合	延べ
	製 造 所	15	10	67%	40
	屋内	171	78	46%	312
	屋外タンク	160	85	53%	340
貯	屋内タンク	9	6	67%	24
貯蔵	地下タンク	130	62	48%	248
所	簡易タンク	0	0	0	0
	移動タンク	113	71	63%	284
	屋外	36	28	78%	112
	小計	619	330	53%	1,320
取	給 油	193	97	50%	388
扱	第一種販売	1	1	100%	4
所	一 般	156	86	55%	344
	小計	350	184	53%	736
	合 計	984	524	53%	2,096

防火対象物

消防法では、建築物など火災予防行政の主たる対象となるものを「防火対象物」と定義しています。そのうち消防法施行令別表第一に掲げる防火対象物については、その用途や規模等に応じて、(1)項から(20)項までに分類されており、用途区分、構造、面積、階層、収容人員などの各基準に該当すると、火災予防のための防火管理者の選任義務などの人的体制の整備や消防用設備等の設置、防炎物品の使用などが義務付けられています。

そのため、消防職員が定期的に立入検査を行い、指導があった場合は速やかに改善していただくようお願いしています。

建築確認同意事務処理件数 (令和元年度)

種別	新築	増 築	改 築	その他	合 計
筑西市	111	5	1	0	117
結城市	63	3	1	0	67
桜川市	32	4	0	0	36
合 計	206	12	2	0	220

火災予防条例等に基づく届出状況 (令和元年度)

市 別 目	合計	筑西市	結城市	桜川市
圧縮アセチレンガス	14	11	0	3
液化石油ガス貯蔵取扱	13	0	10	3
喫煙・裸火使用、危険物品持込	22	0	20	2
防火対象物使用開始	100	49	32	19
炉、かまど、ボイラー乾燥設備	36	17	6	13
ネオン管灯設備	0	0	0	0
発電、変電、蓄電池設備	81	35	24	22
水素ガス充てん気球	0	0	0	0
火災とまぎらわしい行為の届出	213	0	39	174
煙火打ち上げ	97	0	20	77
催物開催	9	0	1	8
水道断減水	0	0	0	0
道路工事	215	0	145	70
少量危険物貯蔵取扱	21	9	8	4
指定可燃物貯蔵取扱	24	13	9	2
合計	845	134	314	397

中•高層建築物状況

(令和2年4月1日現在)

		防火対象物	棟数			[階数	2年4)	بر ۱۱ ۱	元圧ノ
		<u> </u>	保奴	4	5	6	7	8	9	10
4	イ	劇場・映画館・演芸場等								
1		公会堂•集会場	1	1						
	1	キャバレー・ナイトクラブ等								
2		遊技場・ダンスホール								
_	/\	性風俗関連特殊営業店舗等								
	1	カラオケボックス等								
3	イ	待合•料理店類								
3		飲食店	2	2						
4		百貨店・マーケット・店舗等	1	1						
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	13	5	1	2	3	1		1
5		寄宿舎・下宿・共同住宅	41	16	23			1	1	
	1	病院・診療所・助産所	16	9	4	3				
6		社会福祉施設(入所施設)	3	2	1					
O	/\	社会福祉施設(通所施設)	2	2						
		幼稚園・盲学校・養護学校等								
7		小・中・高・大・各種学校類	27	26	1					
8		図書館・博物館類								
9	イ	公衆浴場のうち熱気浴場類								
9		イ以外の公衆浴場								
10		車両の停車場等								
11		神社•寺院•教会類	1	1						
12	イ	工場•作業場	15	11	2	2				
12		映画・テレビスタジオ								
13	イ	自動車車庫・駐車場	1			1				
10		飛行機の格納庫等								
14		倉庫	2	2						
15		前各項に該当しない事業場	22	13	7	2				
16	イ	特定の複合用途防火対象物	29	18	8	1	1			1
10		イ以外の複合用途防火対象物	8	7		1				
17		重要文化財•重要民族資料館								
		숨 計	184	116	47	12	4	2	1	2

防火対象物数

					(令利]元年度)
	防	火対象物	筑西市	結城市	桜川市	合 計
	イ	劇場・映画館・演芸場等	1	2	1	4
1		公会堂•集会場	37	14	20	71
	イ	キャバレー・ナイトクラブ等	6			6
		遊技場・ダンスホール	7	4	3	14
2	<i>/</i> \	性風俗関連特殊営業店舗等				0
	_	カラオケボックス等	5	1	2	8
3	イ	待合•料理店等	7	5	3	15
3		飲食店	68	25	20	113
4		百貨店・マーケット・店舗等	173	82	57	312
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	27	10	6	43
5		寄宿舎・下宿・共同住宅	331	255	87	673
	イ	病院・診療所・助産所	83	27	22	132
6		社会福祉施設(入所施設)	46	22	28	96
O	八	社会福祉施設(通所施設) • 保育所	113	40	25	178
		幼稚園•盲学校•養護学校等	15	8	5	28
7		小・中・高・大・各種学校等	127	60	64	251
8		図書館・博物館等	6		2	8
9	イ	公衆浴場のうち熱気浴場等				0
9		イ以外の公衆浴場	1			1
10		車両の停車場等	2	1		3
11		神社•寺院•教会等	25	23	10	58
12	イ	工場•作業場	650	330	389	1,369
12		映画・テレビスタジオ				0
13	1	自動車車庫・駐車場	37	7	5	49
10		飛行機の格納庫等		2		2
14		倉庫	441	179	163	783
15		前各項に該当しない事業場	538	198	170	906
16	イ	特定の複合用途防火対象物	153	50	35	238
10		イ以外の複合用途防火対象物	41	30	18	89
17		重要文化財•重要民俗文化財等	22	9	24	55
		= +	2,962	1,384	1,159	5,505

広報活動実施状況

(令和元年度)

			,				, 10 10	九十/文/	
署別種別	= †	筑西消防署	関城分署	明野分署	協和分署	結城消防署	桜川消防署	真壁分署	大和分署
防火映画会	31				3	22	2	2	2
避難訓練等	471	110	21	23	28	174	77	21	17
署所見学	23			2	2	16	1	1	1
広報設備による広報 (広報車含む)	36	14		2	2	12	2	2	2
広報用印刷物の配布	31	3		6	4	2	7	2	7
合 計(回)	592	127	21	33	39	226	89	28	29

※ 消防本部対応防災センター見学 平成31年4月1日~令和2年3月31日・・・・79件

甲種防火管理者(新規•再)資格取得講習

実施年月日	受講者数	修了証交付数
令和元年 5月17日•18日(新規)	121	121
令和元年 10月 23日・24日(新規)	121	121
令和元年10月23日 (再)	55	55

民間防火組織等外郭団体結成状況

1 防火クラブ

(令和2年4月1日現在)

	婦人防火クラブ		幼年消防クラブ		少年消防クラブ	
筑西市	2 団体	110名	11 団体	393名	11 団体	423名
結城市	1 団体	32名	7団体	152名	1 団体	20名
桜川市	1 団体	26名	1 団体	641名	5 団体	134名
小計	4 団体	168名	22 団体	1,186名	17 団体	577名
合計	43	クラブ			1, 9	31人

2 危険物安全協会

(1)	筑西市危険物安全協会	会員事業別	斤数	178
(2)	結城市危険物安全協会	会員事業所	所数	105
(3)	桜川市危険物安全協会	会員事業所	析数	59
		合	計	342

3 防火管理協議会

筑西広域防火管理協議会 会員事業所数 426

消防団関係

消防団は、消防本部、消防署とともに、法律に基づいて設けられている消防機関で、構成3市(筑西市・結城市・桜川市)にそれぞれ設置されており、即時対応力、要員動員力、地域密着力では地域防災の中核を担っております。

近年、少子高齢化の進展、被用者の増加、構成市の区域を越えて通勤等を行う住民の増加等の社会経済情勢の変化により、地域における防災活動の担い手不足が懸念されております。

各地で地震、局地的な豪雨等による災害が頻発し、住民の生命、身体、財産の保護における地域防災力の重要性が増大しており、常備消防(消防本部・消防署)と非常備消防(消防団)が一致協力して、地域における安全・安心の確保に努めてまいります。

消防本部 • 署(分署)所在地

署 • 所 名	所 在 地	電話番号
消防本部	〒308-0803 筑西市直井 1076 番地	(代表) 0296-20-0119 総務課 0296-24-4552 警防課 0296-24-4104 管理統制課 0296-20-0188 予防課 0296-24-4589 テレホソサービス 0296-25-0111 FAX 0296-24-5444
筑西消防署 関城分署	〒308-0129 筑西市上野 1045 番地 1	0296-37-2444 FAX 0296-37-6144
筑西消防署 明野分署	〒300-4515 筑西市倉持 1123 番地 1	0296-52-1581 F A X 0296-52-2789
筑 西 消 防 署 協 和 分 署	〒309-1107 筑西市門井 1976 番地 1	0296-57-3479 FAX 0296-57-4444
筑西消防署 川島出張所	〒308-0855 筑西市下川島 771 番地 1	0296-28-0119
結城消防署	〒307-0004 結城市みどり町二丁目3番地	0296-32-5145 FAX 0296-32-7667
結城消防署 結城南出張所	〒307-0031 結城市大字大木 1138 番地	0296-35-0930 FAX 0296-35-4015
桜川消防署	〒309-1213 桜川市西桜川二丁目 29 番地	0296-75-3592 FAX 0296-76-1206
桜川消防署 真壁分署	〒300-4406 桜川市真壁町山尾 793 番地	0296-55-2403 F A X 0296-54-0758
桜川消防署 大和分署	〒309-1242 桜川市羽田 1000 番地	0296-58-6851 F A X 0296-58-6852